

消 防 年 報

令和 7 年版



伊達地方消防組合消防本部

(令和 8 年 8 月刊行)

は し が き

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と消防諸般の事項を収録し、その現状を広く紹介することに併せ、消防行政の推進のため編集したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、各消防統計は、暦年又は年度で表し、また消防状況の逐年傾向を知るため必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

令和 8 年 8 月

伊達地方消防組合消防本部

目 次

管 内 概 況

1. 伊達地方消防組合のあゆみ	1
2. 伊達地方消防組合市町別面積・世帯数・人口調	11
3. 伊達地方消防組合市町別面積・人口・世帯数に対する消防力	11
4. 伊達地方消防組合管理者等及び消防組合議会議員等調	12
5. 歴代管理者・消防組合議会議長・消防長	13

総 務 関 係

1. 伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織	15
2. 伊達地方消防組合消防本部・消防署（分署）事務分掌	16
3. 消防機関所在地	23
4. 消防庁舎の現状	23
5. 令和7年度一般会計予算	27
6. 職員配置状況調	28
7. 職員階級別勤続年数調	29
8. 職員階級別年齢調	30
9. 職員市町別居住地調	30
10. 職員研修状況調	31
11. 職員特殊技能その他資格取得者調	32

予 防 関 係

1. 火災関係	
（1）令和7年火災概要	34
（2）令和7年火災総括表	35
（3）火災概況及び比較表	36
（4）市町別・月別火災発生状況	37
（5）火災件数と損害額	38
（6）火災種別発生率	39
（7）市町別火災発生率	39

(8) 出火率の推移	40
(9) 火災による死傷者の推移	40
(1 0) 原因別火災発生状況	41
(1 1) 時間別火災発生状況	42
(1 2) 覚地方法別出火件数	42
(1 3) 曜日別出火件数調	43
(1 4) 気象別出火件数調 (天候)	43
(1 5) 気象別出火件数調 (湿度)	44
(1 6) 気象別出火件数調 (風速)	44
(1 7) 過去 5 年間ににおける各市町火災発生状況	45

2. 危険物関係

(1) 市町別危険物製造所等	46
(2) 倍数別危険物製造所等 (完成検査済証交付施設)	47

3. 予防関係

(1) 市町別・工事種別同意処理状況	48
(2) 市町別・月別同意処理状況	48
(3) 市町別・用途別建築同意処理状況	49
(4) 防火対象物施設数	50
(5) 防火対象物の階層別・面積別調	51
(6) 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況	52
(7) 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況	53
(8) 防火対象物立入検査実施状況	54
(9) 消防用設備等の届出・検査済証件数	55
(1 0) 火災予防条例等に基づく届出状況	56

警 防 関 係

1. 伊達地方消防組合消防本部・消防署 (分署) 及び消防機械配置図	58
2. 消防本部 (中央消防署) から分署・各市町間の距離	59
3. 相互応援協定	60
4. 現勢消防力調	61

5. 消防水利現状調	61
6. 消防車両等の現勢調	62
7. 無線局配置状況調	64
8. 消防指令センターの概要	65
9. 消防機器材の現有状況	66

救 助 関 係

1. 事故種別出動件数活動件数調	70
2. 事故種別車両別救出者搬送人員調	70
3. 事故種別出動人員活動人員調	71
4. 事故種別出動車両及び活動車両等台数調	72
5. 事故種別発生場所別出動件数及び活動件数調	73
6. 事故種別発生場所別救助人員調	74

救 急 関 係

1. 令和7年救急活動の概要	76
2. 市町別・月別救急出動状況	77
3. 市町別・事故種別救急出動状況	78
4. 事故種別救急出動状況（前年比較）	79
5. 搬送人員傷病程度別分類状況	80
6. 搬送人員年齢別比率	80
7. 医療機関別搬送状況	81
8. 事故種別・時間別救急出動状況	82
9. 現場到着所要時間別出動件数調	83
10. 収容時間別搬送人員数調	83
11. 過去10年の救急出動件数	84
12. 市町別の救急出動率及び搬送割合の推移	85
13. ドクターヘリ搬送状況	85
14. 熱中症による搬送状況（搬送人員）	85
15. 署・分署別救急出動状況（前年比較）	86

伊達地方消防組合のあゆみ

昭和 36.11.1	保原町に常備消防部新設、部員5名、消防ポンプ自動車1台配置される。
昭和 37. 4. 1	保原町常備消防部 部員1名増員、総員6名となる。
昭和 38.10.25	保原町常備消防部に小型動力ポンプ1台配置される。
昭和 41. 6. 1	常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町3町常備消防部を桑折町字堰下1番地内に新設、部員7名、消防ポンプ自動車1台配置される。
昭和 42. 4.12	桑折町、伊達町及び国見町3町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈される。
昭和 44. 4. 1	保原町常備消防部 部員2名増員、総員8名となる。
昭和 44.10. 1	梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車1台配置される。
昭和 44.11. 1	川俣町に常備消防部新設、部員9名、消防ポンプ自動車1台配置される。
昭和 45. 2. 1	桑折町、伊達町及び国見町3町常備消防部 部員1名増員、総員8名となる。
昭和 45. 4. 1	川俣町常備消防部 部員2名増員、総員 11 名となる。
昭和 46. 1.14	川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車1台寄贈される。
昭和 46. 2. -	消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町の各町議会においてそれぞれ議決される。
昭和 46. 3. 9	福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
昭和 46. 4. 1	福島県指令地第 572 号をもって設立が許可され、伊達地方消防組合が発足する。
昭和 46. 4. 1	川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員2名増員、総員 13 名となる。
昭和 46. 5. 1	伊達地方消防組合に消防本部を設置する。 福島県より職員1名の派遣を受ける。
昭和 46. 9. 1	消防職員1名採用、総員 2 名となる。
昭和 46.10. 1	消防職員採用試験を実施する。
昭和 46.10.11	消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
昭和 46.12.24	消防本部に司令車1台配置する。
昭和 47. 1. 7	消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
昭和 47. 2. 1	消防職員1名採用、総員 36 名となる。
昭和 47. 3.27	消防本部・中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部3階建 973.73 m ²)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 377.71 m ²)を霊山町大字下小国字畑尻 45 番地内に新築する。
昭和 47. 3.28	日本損害保険協会より救急車1台寄贈される。
昭和 47. 4. 1	伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。 中央消防署に消防ポンプ自動車1台及び救急車1台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置し、消防救急業務を開始する。 保原町より職員1名、霊山町より職員1名の派遣を受ける。 桑折町、伊達町及び国見町3町常備部より職員8名、梁川町常備部より職員1名及び保原町常備部より職員7名採用、総員 54 名となる。
昭和 47. 4. 1	川俣町常備消防部 部員2名増員、総員 15 名となる。
昭和 47. 5. 1	消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。
昭和 47. 7.15	日本船舶振興会より救急車1台寄贈され西分署に配置する。
昭和 48. 1.20	中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。

	中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。
	東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。
昭和 48. 1.30	西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
昭和 48. 3.27	西分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 570.92 m ²)を桑折町大字上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 382.97 m ²)を梁川町字東塩野川 63 番地内に新築する。
昭和 48. 3.31	派遣職員1名霊山町に復帰、総員 83 名となる。
昭和 48. 4. 1	川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。 中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車1台をもって消防救急業務を開始する。 川俣町より職員1名の派遣を受ける。 川俣町常備消防部より職員 14 名、消防職員8名採用、総員 106 名となる。
昭和 48. 5.20	南分署に広報連絡車1台配置する。
昭和 48. 6. 1	消防職員1名採用、1名退職、総員 106 名となる。
昭和 48.10.30	東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
昭和 48.11.29	日本自動車工業会より救急車1台寄贈され南分署に配置する。
昭和 49. 3.13	南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
昭和 49. 3.15	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,900ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)1台配置する。
昭和 49. 3.28	西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 500ℓ、水槽 1,800ℓ、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1台配置する。
昭和 49. 4. 1	派遣職員1名福島県に復帰、月舘町より職員1名の派遣を受ける。 消防職員 10 名採用、総員 116 名となる。
昭和 49.11. 1	南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
昭和 50. 1.17	南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
昭和 50. 2.13	中央消防署に救助工作車1台配置する。
昭和 50. 4. 1	東北高速自動車道、郡山～白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。 消防職員5名採用、総員 121 名となる。
昭和 50. 6.30	派遣職員1名川俣町に復帰、総員 120 名となる。
昭和 50. 8. 1	消防職員1名退職、総員 119 名となる。
昭和 50.11. 1	消防本部配置の司令車1台更新する。
昭和 51. 3. 4	西分署に救急車1台配置する。
昭和 51. 6.30	派遣職員1名月舘町に復帰、総員 118 名となる。
昭和 51.10. 1	消防本部に予防査察車1台配置する。
昭和 52. 1.14	南分署配置の救急車1台更新する。 中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
昭和 52. 3.31	消防職員1名退職、総員 117 名となる。
昭和 52. 4. 1	消防職員9名採用、総員 126 名となる。
昭和 52.10.27	中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
昭和 53. 2.28	消防職員1名退職、総員 125 名となる。
昭和 53. 4.20	消防職員1名退職、総員 124 名となる。
昭和 54. 1.27	西分署及び北分署配置の広報連絡車各1台更新する。
昭和 54. 1.31	中央消防署配置の救急車1台更新する。

昭和 54. 2. 3	北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
昭和 54. 3. 5	北分署配置の消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
昭和 54. 4. 1	消防職員 10 名採用、1名退職、総員 133 名となる。
昭和 54.10.26	中央消防署訓練場用地 2,911 m ² を取得、拡張整備する。
昭和 54.10.30	南分署配置の広報連絡車1台及び西分署配置の救急車1台それぞれ更新する。
昭和 54.12. 7	中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。 東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
昭和 54.12.13	中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を霊山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
昭和 54.12.14	南分署配置の消防ポンプ自動車1台を飯野町に譲渡する。
昭和 55.10. 1	南分署配置の救急車1台更新する。
昭和 55.12.18	東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
昭和 55.12.27	東分署配置の消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
昭和 56. 1.16	北分署配置の消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
昭和 56. 1.25	高所訓練塔(鉄筋コンクリート5階建 245 m ²)及び耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート2階建 495.5 m ²)を保原町大字大泉字大地内 88 番地内に新築する。
昭和 56. 3.31	福島県消防学校へ1名派遣、1名退職、総員 132 名となる。
昭和 56. 4.30	消防職員1名退職、総員 131 名となる。
昭和 56. 6.20	消防職員1名退職、総員 130 名となる。
昭和 56. 7. 7	第 4 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
昭和 56. 9.30	消防職員1名退職、総員 129 名となる。
昭和 56.11. 3	消防職員1名採用、総員 130 名となる。
昭和 56.11.16	東分署及び北分署配置の救急車各1台更新する。
昭和 56.12.24	中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
昭和 57. 1.18	中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台を保原町に譲渡する。
昭和 57. 3.15	中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24m級)1台配置する。
昭和 57. 3.25	福島県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈され、西分署に配置する。
昭和 57. 3.31	消防職員1名退職、総員 129 名となる。
昭和 57. 4. 1	消防職員3名採用、総員 132 名となる。
昭和 57. 4.21	消防職員1名退職、総員 131 名となる。
昭和 57. 9.30	消防本部配置の司令車、査察車各1台更新する。
昭和 58. 1.31	西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
昭和 58. 2.26	西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
昭和 58. 3.10	南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に譲渡する。
昭和 58. 3.11	西分署配置の消防ポンプ自動車1台を桑折町に譲渡する。
昭和 58. 4. 1	消防職員8名採用、総員 139 名となる。
昭和 58. 5.30	消防本部に事務連絡車1台配置する。
昭和 58.11.21	中央消防署配置の救急車(予備車)1台更新する。
昭和 59. 2. 2	中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車及び西分署配置の化学消防ポンプ自動車各1台更新する。

昭和 59. 2.24	中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
昭和 59. 2.25	中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ自動車を川俣町に譲渡する。
昭和 59. 4.30	消防職員1名退職、総員 138 名となる。
昭和 59. 9.27	中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
昭和 59.11.10	中央消防署厚生室、仮眠室(72 m ²)を増築する。
昭和 60. 3. 6	伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防庁長官より表彰(竿頭授与)される。
昭和 60. 4. 1	伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防課の2課に改組する。
昭和 60. 4. 1	消防職員5名採用、総員 143 名となる。
昭和 60. 6.22	消防本部配置の査察車1台更新する。
昭和 60. 8.20	消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
昭和 60.11.19	中央消防署配置の救助工作車1台更新する。
昭和 61. 2.24	東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各1台更新する。
昭和 61. 3.25	福島県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈され、中央消防署配置の救急車を更新する。
昭和 61. 3.31	中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
昭和 61. 4.12	消防職員1名退職、総員 142 名となる。
昭和 61. 6.10	消防本部配置の水防用人員資器材搬送車1台更新する。
昭和 61. 7. 9	中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各1台更新する。
昭和 61. 7.10	消防本部・中央消防署に車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m ²)を新築する。
昭和 62. 5.15	伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が8.5 水害救援救助活動によって福島県知事より表彰(竿頭授与)される。
昭和 62. 6. 8	中央消防署に消防用トラック1台配置する。
昭和 62. 8.31	(財)日本消防協会より救急車1台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
昭和 62.12. 1	西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
昭和 62.12.28	南分署庁舎内に炊事室(9.5 m ²)を増築する。
昭和 63. 1.25	消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車1台廃車する。
昭和 63. 4. 1	消防職員2名採用、総員 144 名となる。
昭和 63. 8. 1	西分署及び南分署配置の広報連絡車各1台更新する。
平成元. 3.31	消防職員1名退職、総員 143 名となる。
平成元. 4. 3	消防職員1名採用、総員 144 名となる。
平成元.6.29	第 12 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
平成元.12.15	北分署配置の広報連絡車1台更新する。
平成 2. 1.31	南分署配置の救急車1台更新する。
平成 2. 4. 1	4週6休制実施(3部制試行)する。
平成 2.10.15	東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
平成 3. 3.31	消防職員1名退職、総員 143 名となる。
平成 3.12.18	西分署配置の救急車1台更新する。
平成 4. 1.16	水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。

平成 4. 2. 7	北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 4. 3.31	消防職員1名退職、総員 142 名となる。
平成 4. 4. 1	消防職員3名採用、総員 145 名となる。
平成 4.10.26	消防職員1名退職、総員 144 名となる。
平成 4.12. 2	消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
平成 5. 1.29	東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 5. 2.14	完全週休2日制を実施する。
平成 5. 3.26	福島県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈され、中央消防署配置の救急車(予備車)を更新する。
平成 5. 3.31	消防職員1名退職、総員 143 名となる。
平成 5. 9.30	財団法人日本防火協会より防火広報車1台寄贈される。
平成 5.10.31	消防職員1名退職、総員 142 名となる。
平成 6. 3.10	中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
平成 6. 3.31	消防職員1名退職、総員 141 名となる。
平成 6. 4. 1	福島県消防学校に職員1名を平成8年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 6. 6.30	消防職員1名退職、総員 140 名となる。
平成 6. 9.13	消防本部配置の司令車1台更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。
平成 6. 9.30	消防本部配置の事務連絡車1台廃車する。
平成 7. 1.24	東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 7. 3.31	消防職員1名退職、総員 139 名となる。
平成 7. 6.30	消防職員1名退職、総員 138 名となる。
平成 7. 7. 9	水槽付消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
平成 7. 9.13	消防本部配置の連絡車1台廃車する。
平成 7. 9.26	南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 8. 4. 1	消防職員3名採用、総員 141 名となる。
平成 8. 9.20	中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
平成 8.10.14	西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
平成 8.10.25	消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
平成 8.12.25	消防本部に事務連絡車1台配置する。
平成 9. 3.31	消防職員1名退職、総員 140 名となる。
平成 9. 6.23	消防本部配置の査察車1台更新する。
平成 9.12.18	中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
平成 10. 4. 1	高度救急業務を開始する。
	消防職員3名採用、総員 143 名となる。
	福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 13 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 10.10.28	中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 10.11.13	水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
平成 11. 3. 8	西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
平成 11. 3.30	福島総合警備保障株式会社より広報連絡車1台寄贈され南分署配置の広報連絡車を更新する。
平成 11. 3.31	消防職員1名退職、総員 142 名となる。
平成 11.11.29	西分署配置の化学消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 12. 3.31	消防職員1名退職、総員 141 名となる。

平成 12. 4. 1	消防職員4名採用、総員 145 名となる。
平成 12. 9.30	消防職員1名退職、総員 144 名となる。
平成 12.11.28	南分署配置の救急自動車1台更新する。
平成 12.12. 8	西分署配置の高規格救急自動車1台を南分署に、南分署配置の救急自動車1台を西分署にそれぞれ配置替えする。
平成 13. 1.10	中央消防署配置の救助工作車1台更新する。
平成 13. 3.31	消防職員4名退職、総員 140 名となる。
平成 13. 7.31	消防職員1名退職、総員 139 名となる。
平成 13.11.12	西分署配置の広報連絡車1台更新する。
平成 13.11.14	東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
平成 14. 2. 6	消防本部配置の人員資器材搬送車1台更新する。
平成 14. 3.31	消防職員1名退職、総員 138 名となる。
平成 14. 4. 1	消防職員5名採用、総員 143 名となる。
	福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 16 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 15. 2.26	北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 560.57 m ²)を梁川町希望ヶ丘 97 番地の1に新築移転する。
平成 15. 4. 1	消防職員3名採用、総員 146 名となる。
平成 15. 6.30	全国共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈され西分署配置の救急車 1 台更新する。
平成 16. 3.31	消防職員2名退職、総員 144 名となる。
平成 16. 4. 1	消防職員3名採用、総員 147 名となる。
	福島県消防学校に職員1名を平成 18 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 16.10.23	新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊5名派遣する。
平成 17. 3.31	消防職員2名退職、総員 145 名となる。
平成 17. 4. 1	消防職員4名採用、総員 149 名となる。
平成 17.11. 4	中央消防署に指揮兼照明車1台配置する。
	北分署配置の広報連絡車1台更新する。
平成 18. 1. 1	伊達町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町が合併し、伊達市となり、1市4町で構成する消防組合となる。
平成 18. 3.31	消防職員3名退職、総員 146 名となる。
平成 18. 4. 1	消防職員4名採用、総員 150 名となる。
	福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 20 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 18. 4.10	平成 18 年1月1日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組規約変更の許可申請をする。
平成 18. 5. 1	福島県指令北振第 69 号をもって規約変更が許可される。
平成 19. 3.31	消防職員6名退職、総員 144 名となる。
平成 19. 4. 1	消防職員7名採用、総員 151 名となる。
平成 19. 9. 5	消防本部配置の防火広報車1台更新する。
平成 19.12.22	中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替えする。
平成 20. 3.27	地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となったこと並びに平成 20 年7月1日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福島県知事へ伊達地方消防組規約変更の許可申請をする。
平成 20. 3.31	福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。

	消防職員7名退職、総員 144 名となる。
平成 20. 4. 1	消防職員8名採用、総員 152 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 20. 5.14	東分署訓練場等拡張用地 957 m ² を取得する。
平成 20. 6.14	岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊6名派遣する。
平成 20. 7. 1	飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1市3町の消防組合となる。 福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
平成 20. 7.24	岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊6名派遣する。
平成 20.10.31	東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
平成 21. 2.20	財団法人日本消防協会より指揮広報車1台寄贈される。
平成 21. 3.12	財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車1台を消防本部に配置する。 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1台更新する。
平成 21. 3.31	消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
平成 21. 4. 1	消防職員9名採用、総員 151 名となる。
平成 21.12.22	中央消防署配置の高規格救急自動車1台及び資機材搬送車1台それぞれ更新する。
平成 22. 2. 8	北分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 22. 3.31	消防職員8名退職、総員 143 名となる。
平成 22. 4. 1	消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。 福島県消防学校に職員1名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 22.10. 1	家庭救命士制度創設。普通救命講習3回以上受講者に対し交付開始する。
平成 23. 3.11	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、警防本部を設置のうえ、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏えいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
平成 23. 3.14	中央消防署配置のはしご付消防自動車1台更新する。
平成 23. 3.31	消防職員7名退職、総員 146 名となる。
平成 23. 4. 1	消防職員7名採用、総員 153 名となる。
平成 23. 4.22	原発事故の影響により、川俣町山木屋地区が、隣接の相馬郡飯舘村等とともに計画的避難区域に指定され、同地区住民が避難を強いられる。以後、居住者のいない山木屋地区で想定される火災の大規模化に対応するため、火災予防巡回を展開する。
平成 23. 5. 1	東日本大震災と原発事故の影響により、平成 23 年4月1日付予定の定期人事異動が1ヶ月遅れで行われる。
平成 23. 5.25	原発事故による警戒区域等からの避難者の一時帰宅に対し、傷病者発生時対応のため平成 23 年8月 26 日まで延べ救急隊 21 隊及び支援隊 16 隊の派遣協力を行う。
平成 24. 2.20	中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台及び同配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1台をそれぞれ更新する。旧水槽付消防ポンプ自動車は、東分署に配置替えし、東分署の水槽付消防ポンプ自動車を、伊達市に譲渡する。
平成 24. 2.28	原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、南分署の水槽付消防ポンプ自動車と北分署の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)を配置替えする。
平成 24. 3.28	全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車1台寄贈される。
平成 24. 3.29	原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、大阪府高槻市消防本部より、小型動力ポンプ付水槽車 1 台の無償譲渡を受ける。
平成 24. 3.31	消防職員9名退職、総員 144 名となる。
平成 24. 4. 1	消防職員 11 名採用、総員 155 名となる。

	福島県消防学校に職員1名を平成 26 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 24. 4. 6	平成 24 年3月 28 日全国共済農業協同組合連合会から寄贈された高規格救急自動車を西分署に、平成 24 年3月 29 日に大阪府高槻市消防本部から無償譲渡された小型動力ポンプ付水槽車を南分署にそれぞれ配置する。
平成 25. 1.21	東分署配置の高規格救急自動車1台更新する。
平成 25. 2.12	南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
平成 25. 3.31	消防職員3名退職、総員 152 名となる。
平成 25. 4. 1	消防職員 11 名採用、総員 163 名となる。
	福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 28 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 25.12.20	南分署の広報連絡車と東分署の広報連絡車を配置替えする。
平成 25.12.25	消防本部配置の査察車1台、中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台をそれぞれ更新する。
平成 26. 1.10	西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
平成 26. 1.24	消防救急デジタル無線基地局建設工事(消防本部基地局、屏風山基地局、東福沢基地局、山木屋基地局)竣工となる。
	消防本部配置の事務連絡車1台更新する。
平成 26. 3. 4	北分署配置の救急自動車1台を高規格救急自動車に更新する。
平成 26. 3. 5	伊達地方消防組合並びに桑折町消防団が総務省消防庁長官より表彰(竿頭授与)される。
平成 26. 3.31	消防職員 19 名退職、総員 144 名となる。
平成 26. 4. 1	消防職員 10 名採用、総員 154 名となる。
平成 26.11.25	原子力災害避難指示区域消防活動交付金事業により、南分署水槽車車庫を新築する。
平成 27. 2. 6	南分署配置の広報連絡車1台更新する。
平成 27. 2.12	平成 25 年度原子力災害避難指示区域消防活動交付金事業により、南分署配置の小型動力ポンプ付水槽車を更新する。
平成 27. 3.31	消防職員8名退職、総員 146 名となる。
	福島市との消防事務委託を廃止する。
平成 27. 4. 1	消防職員4名採用、総員 150 名となる。
平成 27. 7. 31	消防職員1名退職、総員 149 名となる。
平成 27. 11. 8	消防本部及び中央消防署庁舎並びに消防指令センターの部分引渡しを受け業務移転する。
平成 27. 11. 10	消防救急デジタル無線指令システム仮使用試験運用開始する。
平成 27. 12. 4	平成 27 年度原子力災害避難指示区域消防活動交付金事業により消防本部に人員資機材搬送車1台配置する。
平成 28. 1. 31	消防救急デジタル無線指令システム整備工事竣工となる。
平成 28. 3. 17	消防本部及び中央消防署庁舎並びに消防指令センター建設工事(鉄筋コンクリート一部鉄骨造地上2階一部地下 1 階建 1,911.57 m ²)竣工となる。
平成 28. 3. 31	消防職員5名退職、総員 144 名となる。
平成 28. 4. 1	消防職員4名採用、総員 148 名となる。
	再任用職員制度の運用を開始する。
	福島県消防学校に職員1名を平成 30 年3月 31 日までの期間派遣する。
	消防救急デジタル無線指令システムの本運用を開始する。
平成 28. 12. 13	緊急防災減災事業により、中央消防署配置の救助工作車1台更新する。
平成 29. 3. 7	緊急防災減災事業により、西分署配置の化学車1台及び救急車1台それぞれ更新する。
平成 29. 3. 31	原発事故の影響により計画的避難区域に指定されていた川俣町山木屋地区の指定が解除となる。

	消防職員5名退職、総員 143 名となる。
平成 29. 4. 1	消防職員6名採用、総員 149 名となる。
平成 29. 5. 2	帰還困難区域(浪江町)内で発生した林野火災に福島県広域消防相互応援協定に基づく広域応援隊として、5月 10 日までの 9 日間、延べ 21 隊 84 名の職員を派遣する。
平成 29. 12. 4	南分署配置の高規格救急自動車1台更新し、旧高規格救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替えする。
平成 30. 3. 31	消防職員1名退職、総員 148 名となる。
平成 30. 4. 1	消防職員4名採用、総員 152 名となる。
平成 30. 5. 3	消防職員1名退職、総員 151 名となる。
平成 30. 6. 30	消防職員1名退職、総員 150 名となる。
平成 30. 10. 31	消防職員1名退職、総員 149 名となる。
平成 31. 3. 18	訓練塔改修工事により長寿命化を図る。
平成 31. 3. 31	消防職員8名退職、総員 141 名となる。
平成 31. 4. 1	消防職員3名採用、総員 144 名となる。
	福島県消防防災航空隊に職員1名を平成 34 年3月 31 日までの期間派遣する。
平成 31. 4. 5	北分署配置の消防ポンプ自動車1台、西分署に配置換えする。
令和元. 6. 28	西分署配置の消防ポンプ自動車1台廃棄する。
令和元. 9. 26	中央消防署配置の救急車1台を緊急消防援助隊登録として更新する。
	南分署に救急車1台増車する。
令和元.10. 12	令和元年東日本台風(台風 19 号)による水害により、2日間救出活動にあたる。 出動人員(延べ)122 名、救出人員 186 名
令和元.10. 13	令和元年東日本台風(台風 19 号)による水害のため、救助活動中であった救助工作車及び資機材搬送車が阿武隈川の増水・土砂崩れにより被害を受ける。
令和元.11. 14	川崎市消防局から救助工作車1台の無償譲渡を受ける。
令和元.12. 10	川崎市消防局から譲渡の救助工作車を中央消防署に配置する。
令和 2. 3. 28	消防職員1名退職 総員 143 名となる。
令和 2. 3. 30	中央消防署及び北分署の女性専用施設整備事業が完了する。
令和 2. 4. 1	消防職員7名採用(うち女性消防職員1名採用) 総員 150 名となる。
令和 2. 8. 7	災害復旧事業により、中央消防署に救助工作車1台更新する。
令和 2. 9. 4	災害復旧事業により、中央消防署に資機材搬送車1台更新する。
令和 2.11. 30	中央消防署配置の救急車1台を緊急消防援助隊登録として更新する。
令和 3. 3. 4	西分署敷地拡張のため、用地 906 m ² を取得する。
令和 3. 3. 31	消防職員9名退職、総員 141 名となる。
令和 3. 4. 1	消防職員4名採用、総員 145 名となる。
令和 3. 9. 1	NET119 緊急通報システムの運用を開始する。
令和 3.11. 1	西分署配置の広報連絡車1台更新する。
令和 3.12. 24	西分署配置の救急車1台更新する。
令和 4. 4. 1	消防職員5名採用、総員 150 名となる。
令和 5. 4. 1	消防職員2名採用、総員 152 名となる。
	福島県消防学校に職員1名を令和7年3月 31 日までの期間派遣する。
令和 5. 8.10	12 誘導心電図伝送システムの運用を開始する。
令和 6. 3.31	消防職員1名退職、総員 151 名となる。
令和 6. 4. 1	消防職員2名採用、総員 153 名となる。

令和 6. 4.19	国見町から高規格救急自動車2台の無償譲渡を受ける。
令和 6. 6.21	無償譲渡を受けた高規格救急自動車のうち1台を消防本部、1台を東分署へ配置する。 東分署配置の高規格救急自動車1台更新する。
令和 6. 7. 4	中央消防署西分署庁舎改築工事(鉄骨造地上2階建 997.63 m ²) 竣工となる。
令和 6.10.19	福島県総合防災訓練が保原総合公園をメイン会場に伊達市で初めて開催となる。
令和 7. 1. 1	クラウド型消防OAシステムの運用を開始する。
令和 7. 2.27	岩手県大船渡市で発生した林野火災に緊急消防援助隊福島県大隊として3月 16 日までの 18 日間、消火隊及び後方支援隊として延べ 18 隊 48 名の職員を派遣する。
令和 7. 3.12	消防訓練用模擬家屋一式購入し、中央消防署西分署へ配置する。
令和 7. 3.31	消防本部・中央消防署庁舎洪水浸水対策工事(建築事業)が完了する。 消防職員5名退職、総員 148 名となる。
令和 7. 4. 1	消防職員1名(うち女性消防職員1名)採用、総員 149 名となる。
令和 7. 8. 1	西分署配置の消防ポンプ自動車1台を北分署へ配置換えする。
令和 7. 8. 20	中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。 中央消防署配置の消防ポンプ自動車(予備車)1台を西分署へ配置換えする。
令和 8. 2. 17	消防職員1名退職、総員 148 名となる。
令和 8. 3. 11	消防指令システム浸水対策工事・消防救急デジタル無線機能強化の総合整備が完了する。
令和 8. 3. 31	北分署配置の高規格救急自動車1台更新する。
令和 8. 3. 31	消防職員1名退職、総員 147 名となる。
令和 8. 4. 1	消防職員4名採用、総員 151 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員1名を令和 11 年3月 31 日までの期間派遣する。 映像通報システムの運用を開始する。

伊達地方消防組合市町別面積・世帯数・人口調

(令和8年4月1日現在)

市町別 区分	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口		
			計(人)	男(人)	女(人)
伊 達 市	265.12	23,274	54,674	26,660	28,014
桑 折 町	42.97	4,646	10,706	5,195	5,511
国 見 町	37.95	3,344	7,839	3,795	4,044
川 俣 町	127.70	5,249	11,053	5,513	5,540
合 計	473.74	36,513	84,272	41,163	43,109

伊達地方消防組合市町別面積・人口・世帯数に対する消防力

(令和8年4月1日現在)

区分 市町別	管轄署(分署)	消 防 吏 員 1 人 当 り		消 防 団 員 1 人 当 り		消 防 ポ ン プ 1 台 当 り		
		人 口	世 帯 数	人 口	世帯数	人 口	世 帯 数	面 積 km ²
伊 達 市 保 原 町	消 防 本 部 署 中 央 消 分 署	558.1	241.8	48.3	20.6	475.4	202.4	2.3
伊 達 市 梁 川 町	中 北 消 分 署							
伊 達 市 霊 山 町	中 東 央 消 分 署							
伊 達 市 月 舘 町								
伊 達 市 (旧 伊 達 町)	中 西 央 消 分 署			34.8	15.1	369.2	160.2	1.5
桑 折 町								
国 見 町								
川 俣 町								
1 市 3 町	1 署 ・ 4 分 署	558.1	241.8	39.8	17.2	411.1	178.1	2.3

※ 消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

伊達地方消防組合管理者等及び消防組合議会議員等調

(令和8年8月1日現在)

管 理 者 等

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
管 理 者	須 田 博 行	伊 達 市 長	
副 管 理 者	高 橋 宣 博	桑 折 町 長	
〃	村 上 利 通	国 見 町 長	
〃	藤 原 一 二	川 俣 町 長	
会 計 管 理 者	遠 藤 正 明	伊達市会計管理者	

消 防 組 合 議 会 議 員

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
議 長	菊 地 邦 夫	伊 達 市 議 会 議 員	
副 議 長	佐 藤 武 朗	桑 折 町 議 会 議 員	
議 員	川 名 静 子	桑 折 町 議 会 議 員	
〃	佐 藤 孝	国 見 町 議 会 議 員	
〃	小 林 聖 治	〃 議 会 議 員	
〃	原 田 建 一 郎	伊 達 市 議 会 議 員	
〃	島 明 美	〃 議 会 議 員	
〃	池 田 英 世	〃 議 会 議 員	
〃	小 野 誠 滋	〃 議 会 議 員	
〃	大 條 一 郎	〃 議 会 議 員	
〃	安 藤 喜 昭	〃 議 会 議 員	
〃	藤 野 圭 史	川 俣 町 議 会 議 員	
〃	菅 野 信 一	〃 議 会 議 員	

監 査 委 員

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
委 員	鈴 木 頼 子		識 見 者
〃	島 明 美		議 会 選 出

【歴代管理者・消防組合議会議長・消防長】

管理者

歴 代	氏 名	就 任	退 任
初代	仁 志 田 昇	昭 和 46 年 4 月 1 日	昭 和 54 年 3 月 9 日
2代	金 子 徳 之 助	昭 和 54 年 3 月 10 日	平 成 元 年 7 月 25 日
3代	樋 口 光 雄	平 成 元 年 9 月 4 日	平 成 13 年 8 月 26 日
4代	佐 々 木 康 雄	平 成 13 年 8 月 27 日	平 成 14 年 7 月 25 日
5代	遠 藤 五 六	平 成 14 年 7 月 26 日	平 成 17 年 12 月 31 日
6代	仁 志 田 昇 司	平 成 18 年 2 月 22 日	平 成 30 年 2 月 11 日
7代	須 田 博 行	平 成 30 年 2 月 12 日	現 在

消防組合議会議長

歴 代	氏 名	就 任	退 任
初代	本 田 勇 吉	昭 和 46 年 5 月 14 日	昭 和 47 年 3 月 9 日
2代	東 海 林 一 郎	昭 和 47 年 3 月 10 日	昭 和 49 年 7 月 2 日
3代	菅 野 衛	昭 和 49 年 7 月 3 日	昭 和 51 年 3 月 25 日
4代	田 村 柳 一	昭 和 51 年 3 月 26 日	昭 和 55 年 3 月 26 日
5代	本 田 定 吾	昭 和 55 年 3 月 27 日	昭 和 59 年 3 月 29 日
6代	横 木 一 男	昭 和 59 年 3 月 30 日	昭 和 61 年 3 月 26 日
7代	菅 野 功	昭 和 61 年 3 月 27 日	昭 和 62 年 6 月 7 日
8代	渡 辺 善 治	昭 和 62 年 6 月 8 日	昭 和 63 年 3 月 27 日
9代	霜 山 昭 市	昭 和 63 年 3 月 28 日	平 成 2 年 3 月 25 日
10代	赤 坂 浅 吉	平 成 2 年 3 月 26 日	平 成 3 年 5 月 14 日
11代	八 島 仁 一	平 成 3 年 5 月 15 日	平 成 4 年 3 月 26 日
12代	渡 辺 善 治	平 成 4 年 3 月 27 日	平 成 6 年 3 月 24 日
13代	渡 辺 松 雄	平 成 6 年 3 月 25 日	平 成 8 年 3 月 25 日
14代	高 橋 一 由	平 成 8 年 3 月 26 日	平 成 10 年 3 月 24 日
15代	菅 野 宗 一	平 成 10 年 3 月 25 日	平 成 11 年 10 月 28 日
16代	佐 藤 照 利	平 成 11 年 10 月 29 日	平 成 12 年 3 月 6 日
17代	菊 池 兼 夫	平 成 12 年 3 月 27 日	平 成 14 年 3 月 26 日
18代	高 橋 豊 壽	平 成 14 年 3 月 27 日	平 成 16 年 3 月 26 日
19代	三 浦 浩 一	平 成 16 年 3 月 26 日	平 成 18 年 5 月 29 日
20代	齋 藤 剛 一	平 成 18 年 5 月 29 日	平 成 20 年 3 月 27 日
21代	松 山 善 二	平 成 20 年 3 月 28 日	平 成 22 年 7 月 15 日
22代	佐 藤 実	平 成 22 年 7 月 16 日	平 成 24 年 7 月 19 日
23代	浅 野 富 男	平 成 24 年 7 月 20 日	平 成 26 年 5 月 29 日
24代	佐 々 木 彰	平 成 26 年 5 月 30 日	平 成 28 年 7 月 13 日
25代	小 野 誠 滋	平 成 28 年 7 月 14 日	平 成 30 年 5 月 28 日
26代	中 村 正 明	平 成 30 年 5 月 29 日	令 和 4 年 5 月 26 日
27代	安 藤 喜 昭	令 和 4 年 5 月 27 日	令 和 8 年 5 月 26 日
28代	菊 地 邦 夫	令 和 8 年 5 月 27 日	現 在

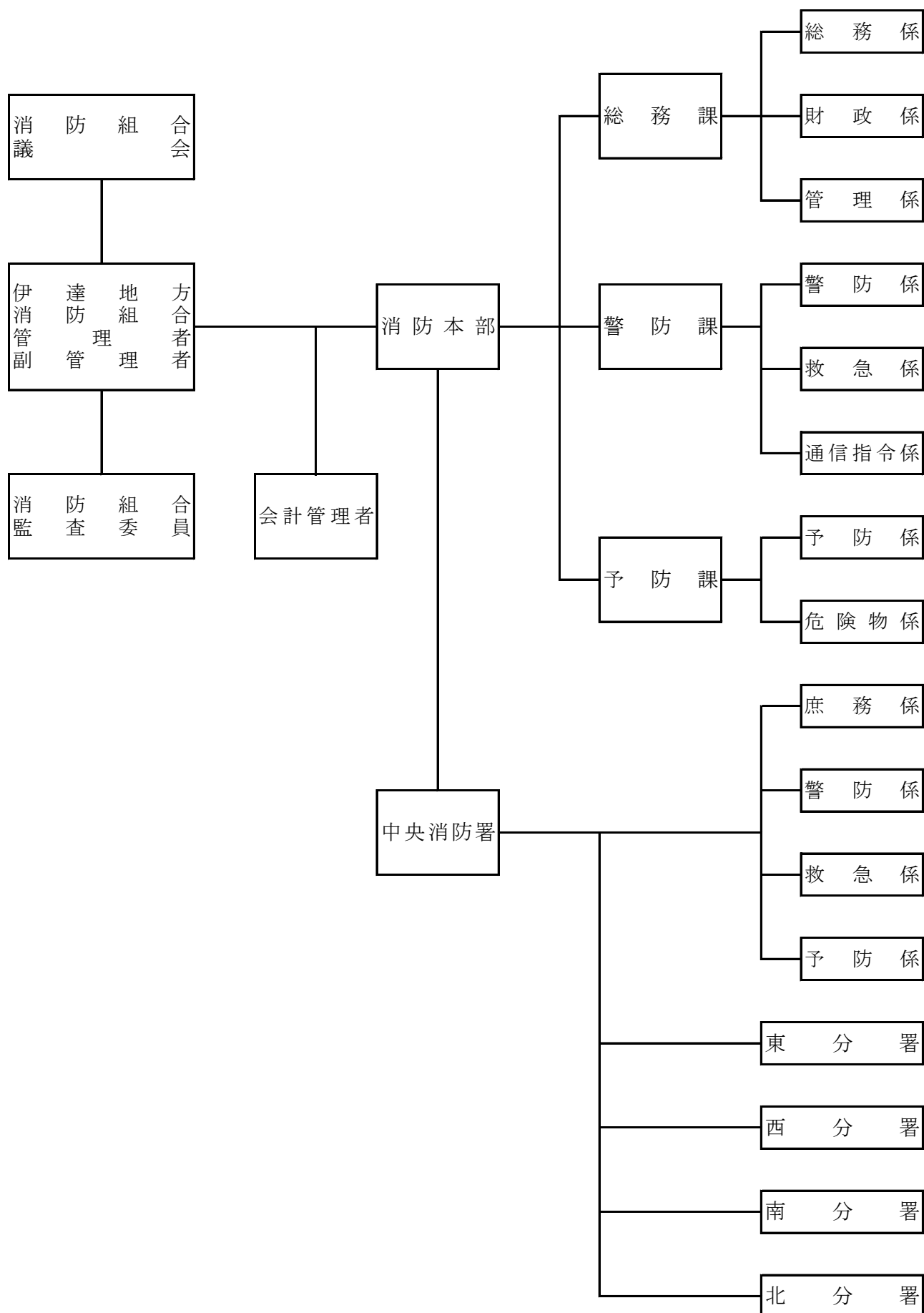
消防長

歴 代	氏 名	就 任	退 任
初代	奥 山 敏 夫	昭 和 46 年 5 月 1 日	昭 和 49 年 3 月 31 日
2代	田 澤 喜 三	昭 和 50 年 4 月 1 日	昭 和 56 年 9 月 30 日
3代	遠 藤 賢 治	昭 和 56 年 11 月 3 日	平 成 元 年 3 月 31 日
4代	鈴 木 忠 夫	平 成 元 年 4 月 3 日	平 成 5 年 3 月 31 日
5代	穴 戸 榮 一	平 成 5 年 4 月 1 日	平 成 7 年 3 月 31 日
6代	樋 口 光 雄	平 成 7 年 4 月 1 日	平 成 9 年 3 月 31 日
7代	八 巻 喜 芳	平 成 9 年 4 月 1 日	平 成 22 年 3 月 31 日
8代	佐 藤 富 士 夫	平 成 22 年 4 月 1 日	平 成 24 年 3 月 31 日
9代	遠 藤 重 信	平 成 24 年 4 月 1 日	平 成 26 年 3 月 31 日
10代	柳 沼 吉 隆	平 成 26 年 4 月 1 日	平 成 27 年 3 月 31 日
11代	福 地 君 夫	平 成 27 年 4 月 1 日	平 成 28 年 3 月 31 日
12代	岡 崎 紀 雄	平 成 28 年 4 月 1 日	平 成 29 年 3 月 31 日
13代	阿 部 孝	平 成 29 年 4 月 1 日	平 成 31 年 3 月 31 日
14代	佐 藤 寿 雄	平 成 31 年 4 月 1 日	令 和 3 年 3 月 31 日
15代	三 浦 恒 男	令 和 3 年 4 月 1 日	令 和 7 年 3 月 31 日
16代	和 光 周 一	令 和 7 年 4 月 1 日	現 在

総務



伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌

【消防本部事務分掌】

総 務 課

- 1 組織並びに総合企画及び調整に関すること。
- 2 職員の人事に関すること。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関すること。
- 4 条例、規則、規程等に関すること。
- 5 公印の管理に関すること。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関すること。
- 7 文書の收受及び発送並びに保存に関すること。
- 8 職員の教養及び研修に関すること。
- 9 財務に関すること。
- 10 職員の服制及び給貸与品に関すること。
- 11 職員の福利厚生に関すること。
- 12 職員の公務災害補償に関すること。
- 13 消防の広報及び消防統計に関すること。
- 14 消防長会に関すること。
- 15 施設等の整備計画及び維持管理に関すること。
- 16 組合事務に関すること。
- 17 管理者、会計管理者及び消防長の事務引継に関すること。
- 18 秘書及び渉外に関すること。
- 19 消防職員委員会に関すること。
- 20 情報管理に関すること。
- 21 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警 防 課

- 1 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 2 警防計画及び訓練に関すること。
- 3 災害対策に関すること。

- 4 救急業務及び救助業務に関すること。
- 5 消防通信に関すること。
- 6 指揮隊、警防隊、救急隊及び救助隊の運用の方針に関すること。
- 7 消防の地理及び水利に関すること。
- 8 気象情報等に関すること。
- 9 警防、救急及び救助統計並びに消防情報に関すること。
- 10 職員の安全管理に関すること。
- 11 消防車両及び各種装備資器材の整備並びに管理に関すること。
- 12 通信施設の維持管理に関すること。
- 13 救急知識の普及向上に関すること。
- 14 救急搬送証明に関すること。
- 15 消防相互応援協定に関すること。
- 16 緊急消防援助隊に関すること。
- 17 防災機関及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 18 消防団との連絡協調に関すること。
- 19 消防協会伊達支部に関すること。
- 20 その他、他の主管に属さない警防事務に関すること。

予 防 課

- 1 火災予防対策の企画立案及び総合調整に関すること。
- 2 防火思想の普及向上に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 違反処理に関すること。
- 5 建築物の許可及び認可又は同意に関すること。
- 6 火災気象通報の伝達及び火災警報発令等に関すること。
- 7 火災原因及び損害調査並びに火災報告に関すること。
- 8 予防統計及び予防情報に関すること。
- 9 予防広報及び広聴に関すること。
- 10 危険物の規制及び保安に関すること。
- 11 液化石油ガス販売施設の意見書に関すること。
- 12 火災予防条例に関すること。
- 13 防火管理及び防災管理に関すること。

- 14 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- 15 り災証明に関すること。
- 16 報道関係機関との連絡に関すること。
- 17 自主防災組織の育成及び指導に関すること。
- 18 危険物安全協会に関すること。
- 19 消防設備協会に関すること。
- 20 幼少年女性防火委員会に関すること。
- 21 伊達地方女性防火クラブ連絡協議会に関すること。
- 22 予防用資器材の整備及び管理に関すること。
- 23 その他、他の主管に属さない予防事務に関すること。

【中央消防署事務分掌】

庶 務 係

- 1 公印の管理に関すること。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 3 職員の服務に関すること。
- 4 職員の給与の支給に関すること。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 6 職員の被服等の給貸与に関すること。
- 7 庁舎の維持管理に関すること。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 9 分署に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警防第 1 係、警防第 2 係、警防第 3 係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
- 2 指揮隊、警防隊、救急隊及び救助隊の編成及び運用に関すること。
- 3 消防計画の運用に関すること。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 5 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 6 職員の教養訓練に関すること。
- 7 装備及び資材に関すること。
- 8 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 9 災害現場における警戒区域の設定に関すること。
- 10 警防調査に関すること。
- 11 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 12 自衛消防隊の指導に関すること。
- 13 相互応援の実施に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない警防及び救助に関すること。

救急第1係、救急第2係、救急第3係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

予防第1係、予防第2係、予防第3係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

【分署事務分掌】

庶 務 係

- 1 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関すること。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関すること。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関すること。
- 6 装備及び資材に関すること。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 8 警防調査に関すること。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 10 自衛消防隊の指導に関すること。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関すること。

予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 4 屋外における火災予防に関すること。
- 5 火の使用の制限に関すること。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 7 火災等災害報告に関すること。
- 8 火災予防条例関係の届出に関すること。

- 9 防火協力団体の指導に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

南分署事務分掌の特例

南分署は、消防協会川俣支部の事務を所掌する。

消 防 機 関 所 在 地

名称	所在地	電話番号	郵便番号
伊達地方消防組合 消 防 本 部	伊達市保原町大泉字大地内 93 番地 1	TEL 024-575-0180 FAX 024-575-4103	960-0634
中 央 消 防 署	〃	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4124	〃
中 央 消 防 署 東 分 署	伊達市霊山町下小国字畑尻 45 番地 3	TEL 024-586-1254 FAX 024-586-3430	960-0808
中 央 消 防 署 西 分 署	桑折町大字上郡字楽 5 番地	TEL 024-582-3190 FAX 024-582-4904	969-1661
中 央 消 防 署 南 分 署	川俣町字五百田 31 番地	TEL 024-566-2145 FAX 024-566-4406	960-1428
中 央 消 防 署 北 分 署	伊達市梁川町希望ヶ丘 97 番地 1	TEL 024-577-1244 FAX 024-577-4469	960-0729

消 防 庁 舎 の 現 状

区 分 名 称	敷地面積 m ²	構 造	建築延面積 m ²	建築年月日
消 防 本 部 消 防 指 令 セ ン タ ー	5,864	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建 一 部 地 下 1 階	1,911.57	平成 28.3
中 央 消 防 署				
高 所 訓 練 塔 (A 塔)		鉄筋コンクリート造 5 階建	245.0	昭和 56.2
耐熱耐煙訓練塔兼補助塔 (B 塔)		鉄筋コンクリート造 2 階建	495.5	昭和 56.2
車 庫 兼 資 材 庫		鉄 骨 ブ ロ ッ ク 造 平 屋 建	60.0	昭和 61.7
屋 内 貯 蔵 所		補強コンクリートブロック造	7.5	平成 28.3
中 央 消 防 署 東 分 署	1,988	鉄筋コンクリート造 2 階建	375.29	昭和 47.3
中 央 消 防 署 西 分 署	2,999	鉄 骨 造 2 階 建	997.63	令和 6.7
中 央 消 防 署 南 分 署	1,441	鉄 骨 ブ ロ ッ ク 造 2 階 建	462.65	昭和 49.3
車 庫 兼 資 材 庫		鉄 骨 造 平 屋 建 プ レ ハ ブ	70.78	平成 26.11
中 央 消 防 署 北 分 署	2,113	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建	543.15	平成 15.3
書 庫		鉄筋コンクリート造平屋建	13.44	平成 15.3



消防本部・中央消防署



中央消防署東分署



中央消防署西分署

中央消防署南分署



中央消防署北分署

訓練塔

高所訓練塔 (A 塔)



耐熱耐煙訓練塔兼補助塔 (B 塔)





消防指令センター

消防本部無線基地局



東福沢無線基地局



屏風山無線基地局



山木屋無線基地局



令和7年度一般会計予算

歳 入

(単位:千円)

款	本 年 度	左 の	前 年 度	左 の	比 較	
	予 算 額	構 成 率	予 算 額	構 成 率	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%		
1 分担金及び負担金	1,700,478	70.3	1,679,854	81.9	20,624	1.2
2 使用料及び手数料	649	0.0	728	0.0	△ 79	△ 10.9
3 国 庫 支 出 金	14,885	0.6	18,058	0.9	△ 3,173	△ 17.6
4 県 支 出 金	954	0.0	3,954	0.2	△ 3,000	△ 75.9
5 財 産 収 入	15	0.0	8	0.0	7	87.5
6 寄 附 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 繰 入 金	10,000	0.4	61,000	3.0	△ 51,000	△ 83.6
8 繰 越 金	3,000	0.1	3,000	0.1	0	0.0
9 諸 収 入	3,818	0.2	12,097	0.6	△ 8,279	△ 68.4
10 組 合 債	686,300	28.4	273,500	13.3	412,800	150.9
歳 入 合 計	2,420,100	100.0	2,052,200	100.0	367,900	17.9

歳 出

(単位:千円)

款	本 年 度	左 の	前 年 度	左 の	比 較	
	予 算 額	構 成 率	予 算 額	構 成 率	A - B	(A - B) %
	A	%	B	%		
1 議 会 費	1,408	0.1	1,403	0.1	5	0.4
2 総 務 費	71,495	3.0	68,760	3.4	2,735	4.0
3 消 防 費	2,198,463	90.8	1,732,447	84.4	466,016	26.9
4 公 債 費	143,734	5.9	246,580	12.0	△ 102,846	△ 41.7
5 予 備 費	5,000	0.2	3,010	0.1	1,990	66.1
歳 出 合 計	2,420,100	100.0	2,052,200	100.0	367,900	17.9

職員配置状況調

(令和8年4月1日現在)

区分		階級 人員	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	再任用 職員
合計		151(7)	1	4(2)	20(4)	63(1)	37	9	17	2
消防本部	消防長	1	1							
	次長	1		1						
	参事	1		1						
	総務課	課長	(1)	(1)						
		主幹	1		1					
		課長補佐	1		1					
		総務係	2			2				
		財政係	1(1)		(1)	1				
		管理係	2		1	1				
	警防課	課長	1	1						
		主幹	1		1					
		課長補佐	1		1					
		警防係	1(1)			1(1)				
		救急係	2			1		1		
		通信指令係	8		3	4	1			1
	予防課	課長	(1)	(1)						
		主幹	0							
		課長補佐	1		1					
		予防係	2		1	1				
		危険物係	2			1		1		
	消防本部付	6				1	1		4	
	計	35(4)	1	3(2)	10(1)	13(1)	2	2	4	1
中央消防署	署長	1		1						
	次長	1			1					
	主幹	4(1)			4(1)					
	庶務係	2				2				1
	警防係	12			1	5	2	3	1	
	救急係	10			1	4	4		1	
	予防係	9			1	4	4			
	東分署	分署長	1		1					
		副分署長	3			3				
		庶務係	3				2		1	
		警防救急係	4			4				
		予防係	5			1	3		1	
	西分署	分署長	(1)		(1)					
		副分署長	3			3				
		庶務係	3			1	2			
		警防救急係	8			3	2	1	2	
		予防係	10			3	4	1	2	
	南分署	分署長	(1)		(1)					
		副分署長	3			3				
		庶務係	3				2		1	
		警防救急係	6			3	1		2	
		予防係	9			2	6		1	
	北分署	分署長	1		1					
		副分署長	3			3				
		庶務係	3				1	1	1	
		警防救急係	4			2	2			
		予防係	5			4		1		
	中央消防署付	0								
	計	116(3)	0	1	10(3)	50	35	7	13	1

注:()は兼務を示す。

職 員 階 級 別 勤 続 年 数 調

(令和8年4月1日現在)

階級 年数	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	再任用 職員
1年未満	4							4	
1年以上 2年未満	1							1	
2年以上 3年未満	2							2	2
3年以上 4年未満	2							2	
4年以上 5年未満	5							5	
5年以上 6年未満	4						2	2	
6年以上 7年未満	7					4	3		
7年以上 8年未満	3					1	1	1	
8年以上 9年未満	3					3			
9年以上 10年未満	6					6			
10年以上 11年未満	4					2	2		
11年以上 12年未満	4					4			
12年以上 13年未満	8					7	1		
13年以上 14年未満	10				7	3			
14年以上 15年未満	10				6	4			
15年以上 16年未満	6				5	1			
16年以上 17年未満	10				8	2			
17年以上 18年未満	9				9				
18年以上 19年未満	8				8				
19年以上 20年未満	7				7				
20年以上 21年未満	3				3				
21年以上 22年未満	4				4				
22年以上 23年未満	3			2	1				
23年以上 24年未満	2			1	1				
24年以上 25年未満	5			3	2				
25年以上 26年未満	0								
26年以上 27年未満	3			3					
27年以上 28年未満	0								
28年以上 29年未満	3			2	1				
29年以上 30年未満	0								
30年以上	15	1	4	9	1				
合 計	151	1	4	20	63	37	9	17	2
平 均 年 数	16.3	41.0	39.5	29.7	17.7	10.8	7.4	2.8	2.0

職 員 階 級 別 年 齢 調

(令和8年4月1日現在)

階級 年齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	再任用 職員
20 歳 以 下	3							3	
21 歳 ～ 25 歳	17						6	11	
26 歳 ～ 30 歳	25					21	1	3	
31 歳 ～ 35 歳	35				18	16	1		
36 歳 ～ 40 歳	36				35		1		
41 歳 ～ 45 歳	12			4	8				
46 歳 ～ 50 歳	11			10	1				
51 歳 ～ 55 歳	3			3					
56 歳 以 上	9	1	4	3	1				2
合 計	151	1	4	20	63	37	9	17	2
平 均 年 齢	35.3	59.0	57.5	49.3	37.9	30.3	26.8	22.6	62.0

職 員 市 町 別 居 住 地 調

(令和8年4月1日現在)

階級 年齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	再任用 職員
伊 達 市	95	1	2	11	42	20	7	12	1
桑 折 町	16			3	5	7	1		
国 見 町	6		1		5				
川 俣 町	13			5	5			3	
福 島 市	20		1	1	6	9	1	2	1
鏡 石 町	1					1			
合 計	151	1	4	20	63	37	9	17	2

職 員 研 修 状 況 調

(令和7年度)

区 分		人 員	階 級 別 内 訳						
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
福 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1							1
	火 災 調 査 科	2				2			
	予 防 査 察 科	2					2		
	特 殊 災 害 科	2				2			
	救 助 科	2				1	1		
	指 揮 隊 長 科	3			1	2			
	消 防 士 長 研 修	3					3		
	初 級 幹 部 科	3				3			
	救 急 救 命 士 養 成 補 助 教 育	2					2		
自 治 研 修 セ ン タ ー	新 規 採 用 職 員 研 修	1							1
	基 礎 力 ア ッ プ 研 修	5							5
	応 用 力 ア ッ プ 研 修	3					3		
	実 行 力 ア ッ プ 研 修	7					7		
	新 任 係 長 研 修	1				1			
	新 任 課 長 研 修	2		2					
	新 任 管 理 者 研 修	4			4				
	レ ジ リ エ ン ス 講 座	5				2	3		
消 防 大 学 校 救 助 科		1				1			
東 京 研 修 所 救 急 救 命 士 養 成 研 修		2					2		
九 州 研 修 所 指 導 救 命 士 養 成 研 修		1				1			
安 全 運 転 セ ン タ ー 緊 急 自 動 車 (消 防 課 程 : 6 ト ン 、 4 ト ン 車 混 成)		2				1	1		
計		54	0	2	5	16	24	0	7

職員特殊技能その他資格取得者調

(令和8年4月1日現在)

種別			階級	消防監	消防司令	消防長	消防司令	消防補士	消防副士	消防長	消防士	計	再任用職員
警防・救急関連	自動車運転免許等	大型		1	4	20	64	36	7		8	140	1
		中型(8t限定)					1					1	1
		準中型							1			1	
		普通							1		8	9	
	小型船舶操縦士				3	14	20	5				42	
	潜水士				2	5	3					10	
	日本赤十字社水上安全法救助法				1	1	4					6	
	小型移動式クレーン技能講習			1	3	13	26	12			1	56	1
	玉掛け技能講習			1	3	13	24	12		1	1	55	1
	巻上げ機械運転特別教育			1	3	7	11	3				25	
	酸素欠乏等危険作業主任者技能講習					6	6	1			1	14	
	ガス溶接技能講習			1	1	7	14	2		1		26	1
	特殊無線技士			1	4	14	51	36		9	13	128	
	救急	救急救命士		1	3	10	27	12			4	57	2
		気管挿管 (ビデオ喉頭鏡含む)		1	3	10	21	1				36	2
		薬剤投与				9	26	7			1	43	2
		心肺機能停止前の静脈路確保、輸液並びに血糖測定、ブドウ糖投与				8	24	7			1	40	
		救急科 (Ⅰ・Ⅱ・標準課程含む)		1	4	20	62	35		9	9	140	2
		ACLS		1	2	2	3	1				9	2
		JPTEC		1	3	11	40	35		3	2	95	2
		BLS			2	6	37	34		3	1	83	
		MCLS(CBERNE含む)				6	23	9			1	39	
		PCEC/PSLS					13	29		3	1	46	
予防関連	予防技術検定	防火査察				11	48	17		3		79	
		危険物				5	17	10		1		33	
		消防用設備等				4	9	3		1		17	
	危険物取扱者	甲種								1		1	
		乙種			2	13	51	22		2	4	94	1
	消防設備士	甲種					1					1	
		乙種			1	1	3	1				6	
	防火対象物点検資格者						1					1	
その他	衛生管理者					5	1					6	
	衛生推進者養成講習				2	6	2					10	2

※ 自動車運転免許中、「普通」には、経過措置による「中型免許(中型車8tに限る)」取得者を含む。

防 予



令和7年度伊達地方消防組合防火ポスターコンクール最優秀賞

川俣町立川俣小学校 高橋 遙太 さんの作品

令和7年度全国統一防火標語

『 ひとつずつ いいね！ で確認 火の用心 』

令和 7 年火災概要

1 火災件数

出火件数は37件で、前年の34件に比べ、3件増加した。

火災種別ごとの内訳(割合)で見ると、建物火災13件(35%)、林野火災1件(3%)車両火災3件(8%)及びその他火災が20件(54%)となっている。

建物火災 13件のうち、住宅における火災は7件で建物火災の54%を占めている。

市町別に火災発生状況をみると、伊達市17件(前年比3件減)、桑折町8件(前年比2件増)、国見町8件(前年比5件増)及び川俣町が4件(前年比1件減)である。

2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は29棟で前年比5棟増である。

焼損程度別(割合)にみると、全焼11棟(38%)、半焼1棟(3%)、部分焼7棟(24%)、ぼや10棟(34%)で、建物火災 1 件あたりの焼損棟数は約2棟であった。

林野火災における焼損面積は8aと前年の540a と比べ532a 減少している。

3 死者及び傷者

火災による死者は1名(前年比4名減)、傷者は3名(前年比2名増)である。

4 損害額

損害額は約2,705万円で、前年に比べると約5,867万円減少した。

5 出火原因

出火原因別(不明及びその他を除く。)にみると、「火のついたゴミ」による火災が5件(13%)で最も多く、次いで「コンロ」が3件(8%)、「ストーブ」が2件(5%)と続いている。

令和7年火災総括表

市町名 区分		伊達市						桑折町	国見町	川俣町	合計	前年計
		伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月館町					
出火件数	計	17	1	2	8	1	5	8	8	4	37	34
	建物	6 3	1 1		3 2	1 1	1 1	1 1	4 2	2 2	13 7	12 10
	林野	1					1				1	3
	車両	2		1	1			1			3	2
	その他	8		1	4		3	6	4	2	20	17
焼損棟数	計	15	3		6	4	2	2	5	7	29	24
	全焼	7	1		2	3	1		1	3	11	15
	半焼	1				1					1	1
	部分焼	4			3		1	1	2		7	2
	ぼや	3	2		1			1	2	4	10	6
罹災世帯	計	8	3		3	1	1		2	2	12	12
	全損	4	1		1	1	1		1	2	7	6
	半損										-	-
	小損	4	2		2				1		5	6
罹災人員		17	9		5	2	1		2	2	21	19
死傷者	死者							1			1	5
	傷者	1			1				1	1	3	1
焼損面積	建物床 (㎡)	752	101		98	141	412		85	366	1,203	1,538
	建物表 (㎡)	119			28	64	27			1	120	486
	林野 (a)	8					8				8	540
損害額 (千円)	計	11,060	2,761	2,238	1,753	1,596	2,712	6,333	1,943	7,709	27,045	85,714
	建物	7,020	1,889		848	1,596	2,687	5,782	1,939	6,910	21,651	70,606
	林野										-	-
	車両	3,579	843	2,238	498			335		745	4,659	581
	その他	461	29		407		25	216	4	54	735	14,527

※ 建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

火災概況及び比較表

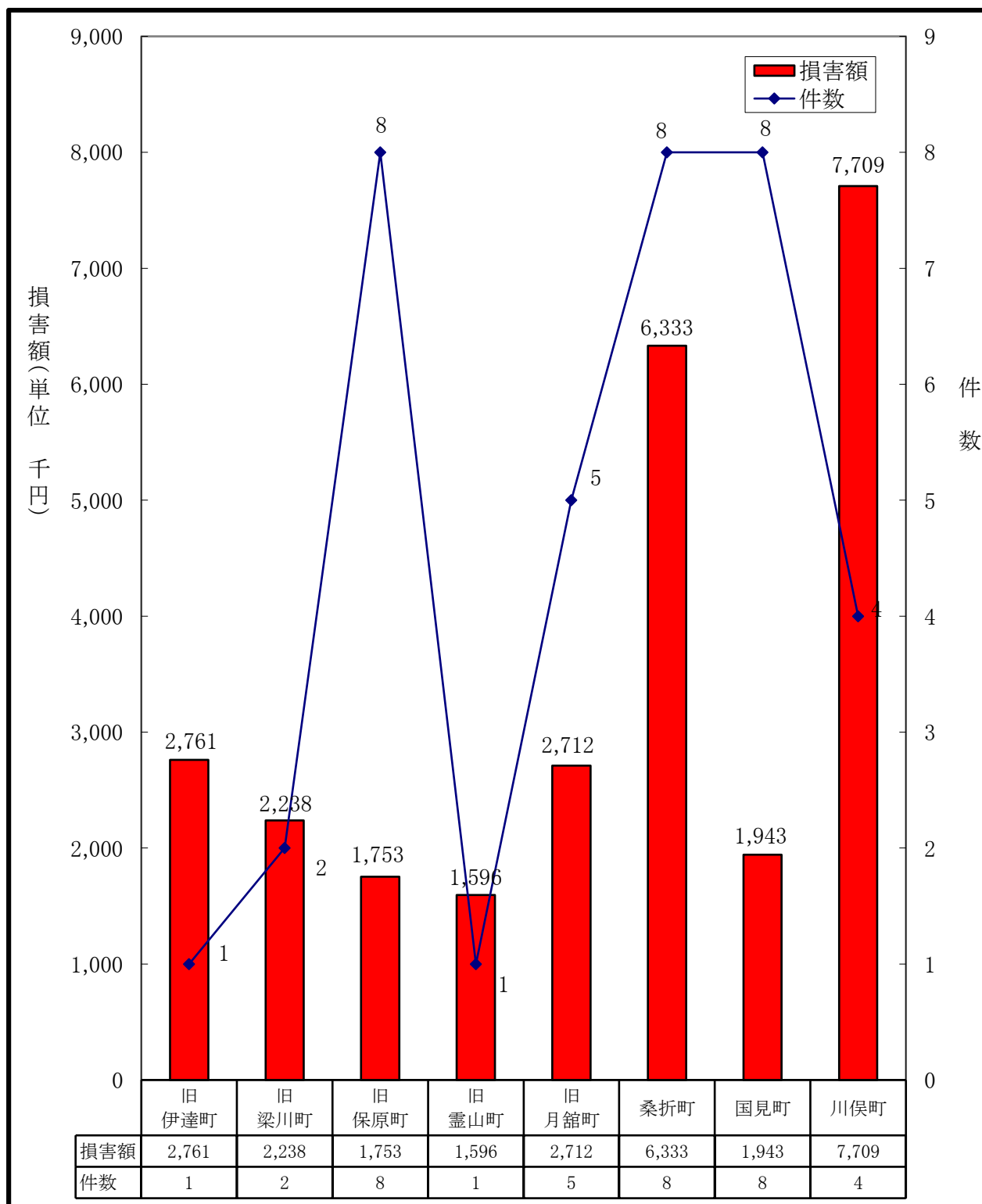
区分		年別	令和7年(A)	令和6年(B)	対前年増減数 (A)－(B)=(C)	増減率 (C)÷(B)×100%
火災発生件数	合 計		37	34	3	8.8
	建 物 火 災		13	12	1	8.3
	林 野 火 災		1	3	△ 2	△ 66.7
	車 両 火 災		3	2	1	50.0
	そ の 他 火 災		20	17	3	17.6
焼損棟数	合 計		29	24	5	20.8
	全 焼		11	15	△ 4	△ 26.7
	半 焼		1	1	0	0.0
	部 分 焼		7	2	5	250.0
	ぼ や		10	6	4	66.7
焼損面積	建物(床)㎡		1,203	1,538	△ 335	△ 21.8
	建物(表)㎡		120	486	△ 366	△ 75.3
	林 野 a		8	540	△ 532	△ 98.5
罹災	世帯数	合 計	12	12	0	0.0
		全 損	7	6	1	16.7
		半 損	0	0	0	0.0
		小 損	5	6	△ 1	△ 16.7
	人 員		21	19	2	10.5
損害額(千円)	合 計		27,045	85,714	△ 58,669	△ 68.4
	建 物		21,651	70,606	△ 48,955	△ 69.3
	林 野		0	0	0	0.0
	車 両		4,659	581	4,078	701.9
	そ の 他		735	14,527	△ 13,792	△ 94.9
死傷者	死 者		1	5	△ 4	△ 80.0
	負 傷 者		3	1	2	200.0
1日平均損害額(千円)			74	235	△ 161	△ 68.5
建物火災のみ1件平均損害額			1,665	5,884	△ 4,219	△ 71.7
建物火災のみ1日平均損害額			59	193	△ 134	△ 69.3

市町別・月別火災発生状況

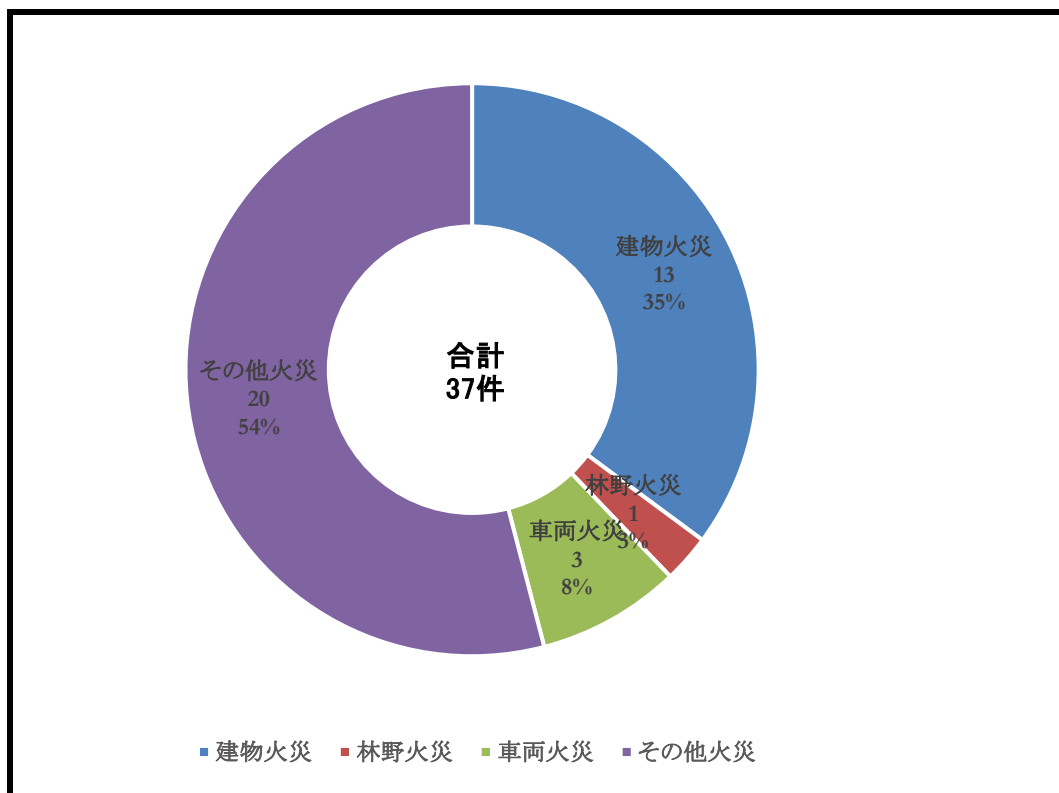
市町別 月別	伊達市						桑折町	国見町	川俣町	合計	前年計
	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					
1月	2			1		1		1	1	4	3 (1)
2月	3	1		1		1		2		5	5
3月	3			2		1	1	3		7	8 (1)
4月									1	1	5 (1)
5月	1		1					1	1	3	4
6月	1			1			1			2	3
7月	1					1	1			2	1
8月	1			1			1	1		3	-
9月	1			1			1			2	-
10月							2 (1)			2 (1)	2 (1)
11月	2		1		1		1		1	4	1
12月	2			1		1				2	2 (1)
合計	17	1	2	8	1	5	8 (1)	8	4	37 (1)	
前年計	20 (4)	4	7 (2)	5	1 (1)	3 (1)	6 (1)	3	5		34 (5)
増減数	△ 3	△ 3	△ 5	3	-	2	2	5	△ 1		3

※ ()内は火災による死者数

火災件数と損害額

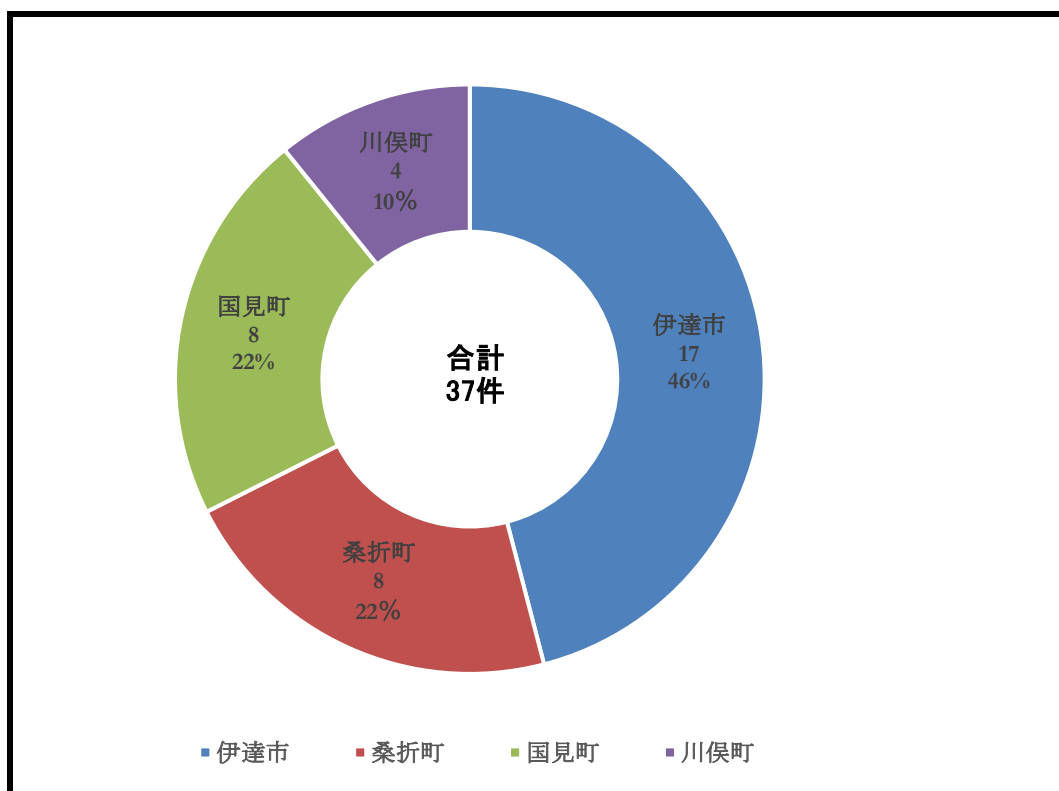


火災種別発生率



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

市町別火災発生率



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

出火率の推移

市町別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
伊達市	3.8	3.4	3.1	3.0	3.7	3.0	3.4	4.9	3.6	3.11
桑折町	7.3	4.9	5.8	4.2	0.8	3.5	3.5	3.7	5.5	7.48
国見町	6.3	2.1	3.2	2.2	8.9	3.5	5.8	6.3	3.7	10.21
川俣町	5.7	5.7	0.7	5.4	3.1	2.4	4.9	5.4	4.4	3.62
伊達管内	4.5	3.4	2.8	3.7	3.8	2.9	3.8	4.6	4.0	4.4
福島県	3.4	3.3	3.0	3.2	2.6	3.2	3.0	3.9	3.5	3.55
全 国	3.1	2.9	3.0	2.9	2.7	2.7	2.8	3.1	3.0	3.28

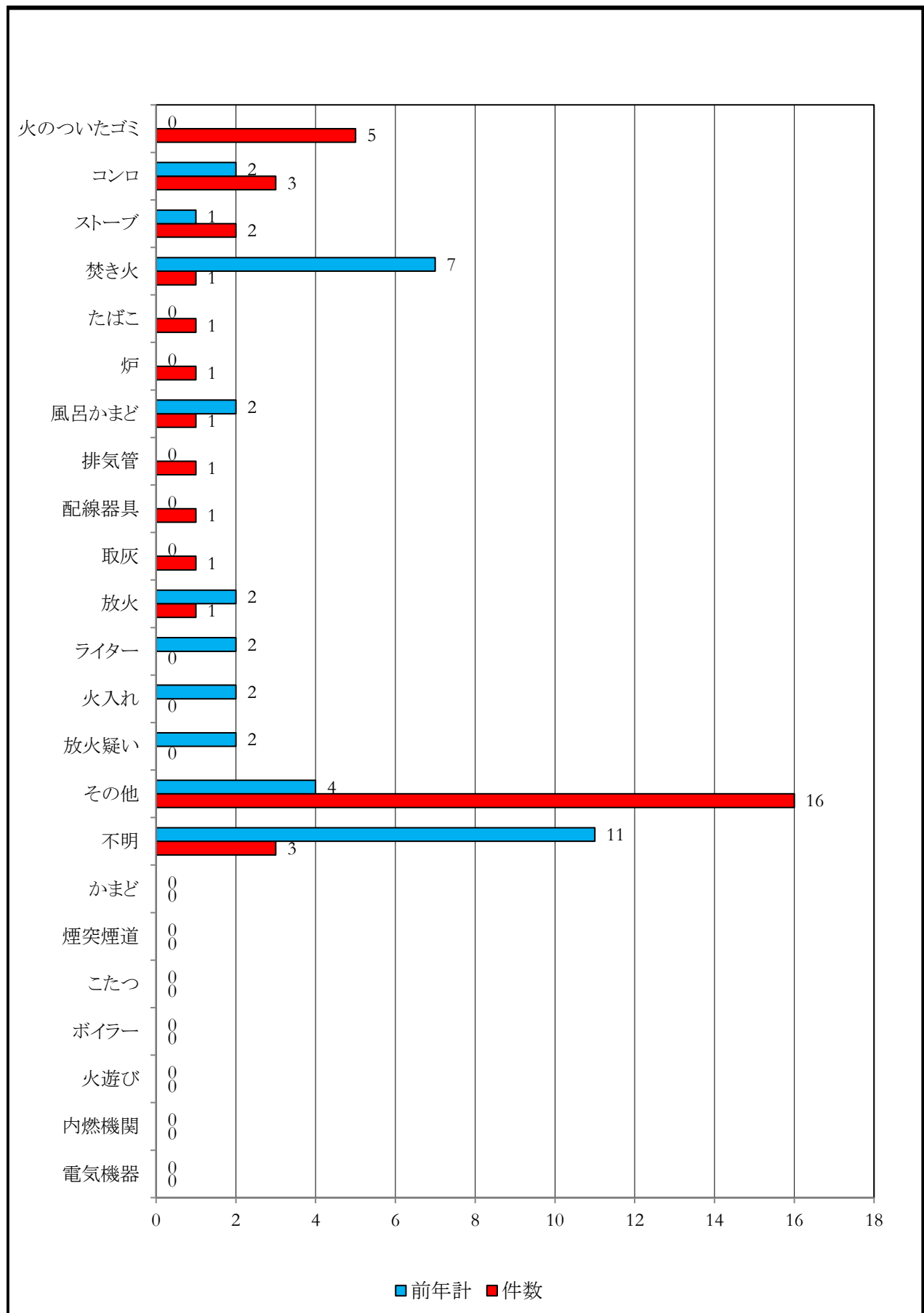
- (注) 1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。
 2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。
 3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

火災による死傷者の推移

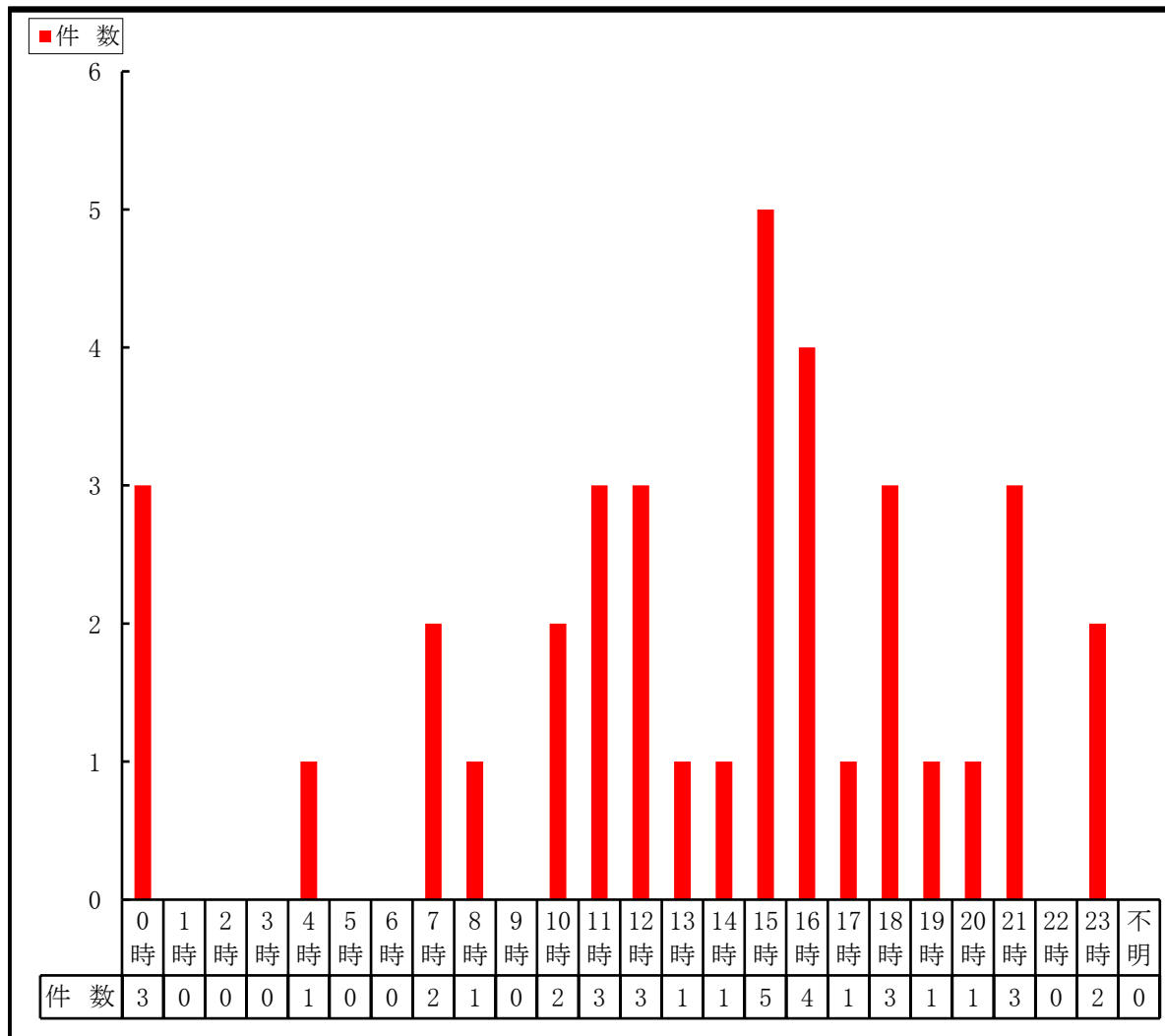
(単位：人)

区分 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
死 者	1	6	3	4		2	2	1	5	1
放火自殺			1				2		1	
負傷者	5	9	7	7	4	2	7	5	1	3

原因別火災発生状況



時間別火災発生状況



覚知方法別出火件数

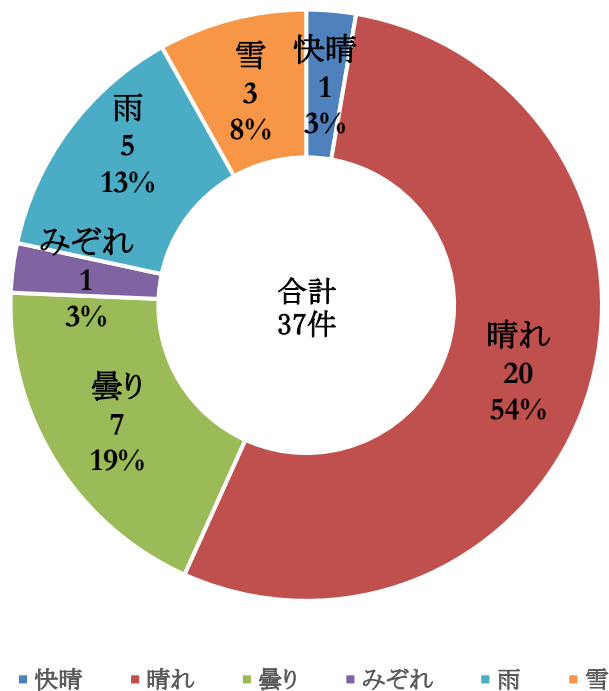
覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	4	11%
火災報知専用電話(携帯)	19	51%
加入電話	7	19%
事後聞知	4	11%
その他	3	8%
合計	37	100%

(注)構成比は、表示単位未満四捨五入。

曜日別出火件数調

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	計
1月				2	1		1	4
2月		2		1	1	1		5
3月	1	1			1	1	3	7
4月						1		1
5月				1		1	1	3
6月	1			1				2
7月		1		1				2
8月	1	2						3
9月				1		1		2
10月					1		1	2
11月			1		1	2		4
12月		1			1			2
計	3	7	1	7	6	7	6	37

気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

気象別出火件数調(湿度)

湿度 月別	40%以下	40%を 越え 50%以下	50%を 越え 60%以下	60%を 越え 70%以下	70%を 越え 80%以下	80%を 越え 90%以下	90%越え	計
1月	1				2		1	4
2月		1	1		1	2		5
3月	3		3		1			7
4月			1					1
5月			1	1			1	3
6月		1			1			2
7月		1			1			2
8月			1				2	3
9月						1	1	2
10月	1				1			2
11月	1			1	2			4
12月					1		1	2
計	6	3	7	2	10	3	6	37

気象別出火件数調(風速)

風速 月別	1m 以下	2m	3m	4m	5m	6m	7m	8m	9m	10m	11m	12m 以上	計
1月	1	3											4
2月		2			1	1	1						5
3月		2	1	1	1		1			1			7
4月						1							1
5月		1		2									3
6月			2										2
7月		1	1										2
8月			1		2								3
9月	1	1											2
10月	1		1										2
11月	1	1		1		1							4
12月	1						1						2
計	5	11	6	4	4	3	3	-	-	1	-	-	37

過去5年間における各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

市町別		年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	合 計
		区分						
伊達市	伊達市	出火件数	18	20	27	20	17	102
		損害額	43,834	33,607	28,742	51,767	11,060	169,010
	旧伊達町	出火件数	2	1	3	4	1	11
		損害額	803	2,500	11,372	201	2,761	17,637
	旧梁川町	出火件数	8	5	7	7	2	29
		損害額	22,063	3,072	9,583	48,346	2,238	85,302
	旧保原町	出火件数	5	7	9	5	8	34
		損害額	19,373	11,848	6,126	4	1,753	39,104
	旧霊山町	出火件数	2	6	7	1	1	17
		損害額	813	467	895		1,596	3,771
	旧月舘町	出火件数	1	1	1	3	5	11
		損害額	782	15,720	766	3,216	2,712	23,196
桑折町	出火件数	4	4	4	6	8	26	
	損害額	948	50	2	19,050	6,333	26,383	
国見町	出火件数	3	5	5	3	8	24	
	損害額	495	1,946	100	14,495	1,943	18,979	
川俣町	出火件数	3	6	6	5	4	24	
	損害額	2,807	22,792	3,741	402	7,709	37,451	
合 計	出火件数	28	35	42	34	37	176	
	損害額	48,084	58,395	32,585	85,714	27,045	251,823	

市町別危険物製造所等

(令和7年12月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
伊 達 市	209	130	19	20	1	45	44	1	79	40	39
	207	129	19	20	1	44	44	1	78	40	38
	53	37	5	10	1	8	13		16	9	7
	51	36	5	10	1	7	13		15	9	6
	61	39	5	5		13	16		22	10	12
	61	39	5	5		13	16		22	10	12
	63	33	4	3		15	11		30	15	15
	63	33	4	3		15	11		30	15	15
	19	12	2	2		3	4	1	7	4	3
	19	12	2	2		3	4	1	7	4	3
	13	9	3			6			4	2	2
	13	9	3			6			4	2	2
	58	40	5	2	3	19	11		18	8	10
	58	40	5	2	3	19	11		18	8	10
	41	22	4	2		9	7		19	7	12
	40	21	3	2		9	7		19	7	12
桑 折 町	62	39	9	4	1	11	13	1	23	7	16
	62	39	9	4	1	11	13	1	23	7	16
国 見 町	370	231	37	28	5	84	75	2	139	62	77
	367	229	36	28	5	83	75	2	138	62	76

(注) 上段は、許可証交付施設数

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(令和7年12月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5 倍 以 下	187	157	21	10	1	50	74	1	30		30
5 倍 を こ え 1 0 倍 以 下	79	51	11	10	4	24	1	1	28		28
1 0 倍 を こ え 5 0 倍 以 下	56	18	3	8		7			38	20	18
5 0 倍 を こ え 1 0 0 倍 以 下	13	2	1			1			11	11	
1 0 0 倍 を こ え	32	1				1			31	31	
合 計	367	229	36	28	5	83	75	2	138	62	76

市町別・工事種別同意処理状況

(令和7年12月31日現在)

種別 市町別	新築	増築	改築	用途 変更	移転	大規模 模様替	大規模 修繕	その他	計
伊達市	21	11							32
桑折町	6	6							12
国見町	5	3							8
川俣町	6	4							10
計	38	24	-	-	-	-	-	-	62

市町別・月別同意処理状況

(令和7年12月31日現在)

月別 市町別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
伊達市	2	2	1	4	2	2	4	5	4	2	2	2	32
桑折町		2		1	2	1	1	1		2	2		12
国見町	1			1				2	2	1		1	8
川俣町	2	1	2		2				1		1	1	10
計	5	5	3	6	6	3	5	8	7	5	5	4	62

市町別・用途別建築同意処理状況

(令和7年12月31日現在)

市町別 防火対象物		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	計
(1)	イ 劇場、映画館等					
	ロ 公会堂、集会場				1	1
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ					
	ロ 遊技場、ダンスホール					
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス等					
(3)	イ 待合、料理店の類					
	ロ 飲食店	1				1
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	2	2		1	5
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所					
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	2			1	3
(6)	イ 病院、診療所、助産所		1			1
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等					
	ハ 老人デイサービスセンター等					
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類					
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類					
(8)	図書館、博物館の類					
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類					
	ロ イ、以外の公衆浴場					
(10)	車両の駐車場の類					
(11)	神社、寺院、教会の類					
(12)	イ 工場、作業場	3		1	2	6
	ロ テレビスタジオ等					
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	2				2
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫					
(14)	倉庫	4	2	2	1	9
(15)	前各項に該当しない事業場	6	3	3	2	14
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	1				1
	ロ 上記以外の(複)		1		1	2
住宅		4	3			7
その他		7		2	1	10
合計		32	12	8	10	62

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

防火対象物施設数

(令和7年12月31日現在)

市町村 防火対象物施設数			伊達市	桑折町	国見町	川俣町	計
(1)	イ	劇場、映画館等	1			1	2
	ロ	公会堂、集会場	60	9	9	25	103
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ					-
	ロ	遊技場、ダンスホール	6		1	1	8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					-
	ニ	カラオケボックス等	1				1
(3)	イ	待合、料理店の類					-
	ロ	飲食店	44	11	4	11	70
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	109	19	16	28	172
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	13	4		8	25
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	231	37	16	47	331
(6)	イ	病院、診療所、助産所	36	5	5	10	56
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	28	8	2	7	45
	ハ	老人デイサービスセンター等	78	15	3	9	105
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	5	3	1	1	10
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	51	15	8	30	104
(8)		図書館、博物館の類	4	3	1	1	9
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類					-
	ロ	イ、以外の公衆浴場					-
(10)		車両の駐車場の類	1	1	2		4
(11)		神社、寺院、教会の類	63	14	10	20	107
(12)	イ	工場、作業場	318	74	53	102	547
	ロ	テレビスタジオ等					-
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	30	7	2	5	44
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫					-
(14)		倉庫	322	65	49	81	517
(15)		前各項に該当しない事業場	350	85	91	149	675
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複	89	11	15	31	146
	ロ	上記以外の 複	31	8	5	13	57
(17)		重要文化財	6	3	2	3	14
合 計			1,877	397	295	583	3,152

(注) 1. **複**は、複合用途防火対象物を示す。

防火対象物の階層別・面積別調

(令和7年12月31日現在)

防火対象物施設数			階 層 別							面積別 (㎡)									
			一階	二階	三階	四階	五階	六階	七階以上	計	150	150	300	500	700	1,000	6,000	10,000	計
											未満	～299	～499	～699	～999	～5,999	～9,999	以上	
(1)	イ	劇場、映画館等		2						2						2			2
	ロ	公会堂、集会場	68	27	7	1				103	16	21	29	15	10	12			103
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ								-									-
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	3						8		1	2	3	1	1			8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								-									-
	ニ	カラオケボックス等		1						1			1						1
(3)	イ	待合、料理店の類								-									-
	ロ	飲食店	37	30	2	1				70	31	28	7	3	1				70
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	142	27	3					172	36	49	20	10	7	47	3		172
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	8	15	1		1			25	9	6	2	2	3	3			25
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	251	49	9	14			331	20	159	78	21	13	40			331
(6)	イ	病院、診療所、助産所	19	29	2	3	2	1		56	6	19	15	5	2	6	1	2	56
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	16	24	5					45		7	5	9	4	19		1	45
	ハ	老人デイサービスセンター等	58	45	2					105	27	36	16	7	8	11			105
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	8	2						10	2		2		1	4	1		10
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	55	23	21	5				104	21	14	7	9	11	33	7	2	104
(8)		図書館、博物館の類	3	5	1					9	2	1		2		4			9
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類								-									-
	ロ	イ、以外の公衆浴場								-									-
(10)		車両の駐車場の類	3	1						4	2	2							4
(11)		神社、寺院、教会の類	62	45						107	35	20	23	18	9	2			107
(12)	イ	工場、作業場	328	210	6	2	1			547	63	94	116	67	53	130	11	13	547
	ロ	テレビスタジオ等								-									-
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	40	4						44	24	12	6	2					44
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫								-									-
(14)		倉庫	428	85	4					517	198	94	87	42	40	51	3	2	517
(15)		前各項に該当しない事業場	457	186	27	3	1	1		675	244	109	126	68	55	69	2	2	675
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	42	81	18	2	2		1	146	9	34	42	22	12	26	1		146
	ロ	上記以外の(複)	7	38	11			1		57	2	9	18	13	5	8	2		57
(17)		重要文化財	11	3						14	11		1	2					14
合 計			1,805	1,137	159	26	21	3	1	3,152	758	715	603	320	235	468	31	22	3,152

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

(令和7年12月31日現在)

防火対象物			伊達市		桑折町		国見町		川俣町		計	
			A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ	劇場、映画館等							1	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	38	38	6	6	5	5	10	10	59	59
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ									-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5					1	1	6	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									-	-
	ニ	カラオケボックス等	1	1							1	1
(3)	イ	待合、料理店の類									-	-
	ロ	飲食店	7	5	1	1					8	6
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	50	48	8	8	6	6	15	15	79	77
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	6					1	1	7	7
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	10	10	2	2	5	1	3	3	20	16
(6)	イ	病院、診療所、助産所	7	7			1	1	1	1	9	9
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	24	22	7	7			6	6	37	35
	ハ	老人デイサービスセンター等	22	21	5	5	1	1	3	3	31	30
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	2	2	1	1	1	1			4	4
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	14	14	6	6	2	2	3	3	25	25
(8)		図書館、博物館の類	1	1			1	1			2	2
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類									-	-
	ロ	イ、以外の公衆浴場									-	-
(10)		車両の駐車場の類									-	-
(11)		神社、寺院、教会の類	16	16	2	2	2	2			20	20
(12)	イ	工場、作業場	27	27	6	6	4	4	9	9	46	46
	ロ	テレビスタジオ等									-	-
(13)	イ	自動車車庫、駐車場									-	-
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫									-	-
(14)		倉庫	5	5	2	2					7	7
(15)		前各項に該当しない事業場	41	41	5	5	6	6	6	6	58	58
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	53	49	4	4	10	10	17	16	84	79
	ロ	上記以外の(複)	10	10	1	1			2	2	13	13
(17)		重要文化財			1	1					1	1
合 計			339	328	57	57	44	40	78	77	518	502

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

(令和7年12月31日現在)

防火対象物			伊達市		桑折町		国見町		川俣町		計	
			A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ	劇場、映画館等									-	-
	ロ	公会堂、集会場	9	8	1	1			10	10	20	19
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ									-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1							1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									-	-
	ニ	カラオケボックス等									-	-
(3)	イ	待合、料理店の類									-	-
	ロ	飲食店	17	15	4	4	1	1	1	1	23	21
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	18	17	3	3	3	3	4	4	28	27
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	1	1							1	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅									-	-
(6)	イ	病院、診療所、助産所									-	-
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等									-	-
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3			1	1			5	4
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類									-	-
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類									-	-
(8)		図書館、博物館の類									-	-
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類									-	-
	ロ	イ、以外の公衆浴場									-	-
(10)		車両の駐車場の類									-	-
(11)		神社、寺院、教会の類	1	1	3	3	1	1	1	1	6	6
(12)	イ	工場、作業場									-	-
	ロ	テレビスタジオ等									-	-
(13)	イ	自動車車庫、駐車場									-	-
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫									-	-
(14)		倉庫									-	-
(15)		前各項に該当しない事業場	5	5	2	1			4	4	11	10
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複	4	3					1	1	5	4
	ロ	上記以外の 複									-	-
(17)		重要文化財									-	-
合 計			60	54	13	12	6	6	21	21	100	93

(注) 1. **複**は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

防火対象物立入検査実施状況

(令和7年12月31日現在)

防火対象物			伊達市		桑折町		国見町		川俣町		計	
			A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ	劇場、映画館等	1						1		2	-
	ロ	公会堂、集会場	60	25	9	3	9	4	25	9	103	3
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ									-	-
	ロ	遊技場、ダンスホール	6	3			1	1	1	1	8	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									-	-
	ニ	カラオケボックス等	1								1	-
(3)	イ	待合、料理店の類									-	-
	ロ	飲食店	44	10	11	2	4	1	11		70	13
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	109	27	19	7	16	3	28	18	172	55
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	13	5	4				8	1	25	6
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	231	11	37	2	16		47	5	331	18
(6)	イ	病院、診療所、助産所	36	7	5		5	1	10	3	56	11
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	28	3	8	4	2	2	7	7	45	16
	ハ	老人デイサービスセンター等	78	12	15	4	3	2	9	3	105	21
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	5		3		1	1	1		10	1
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	51	7	15	1	8		30	5	104	13
(8)		図書館、博物館の類	4		3		1		1	1	9	1
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類									-	-
	ロ	イ、以外の公衆浴場									-	-
(10)		車両の駐車場の類	1		1		2				4	-
(11)		神社、寺院、教会の類	63	9	14		10		20	4	107	13
(12)	イ	工場、作業場	318	67	74	16	53	6	102	23	547	112
	ロ	テレビスタジオ等									-	-
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	30	2	7		2		5	1	44	3
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫									-	-
(14)		倉庫	322	58	65	3	49	5	81	20	517	86
(15)		前各項に該当しない事業場	350	49	85	18	91	15	149	54	675	136
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する (複)	89	18	11	3	15	8	31	11	146	40
	ロ	上記以外の (複)	31	6	8		5		13	2	57	8
(17)		重要文化財	6		3	2	2	1	3	4	14	7
合 計			1,877	319	397	65	295	50	583	172	3,152	568

(注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査の延べ件数。

消防用設備等の届出・検査済証件数

(令和7年12月31日現在)

設備名 区分	計	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備等	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	連結散水設備	連結送水管
着工届出	43	1	1	2		1	1	27		8	1		1			
設置届出	173	35	6	5		3	2	56		8	6		52			
検査済証	149	28	6	5		2	2	52		6	4		44			

火災予防条例等に基づく届出状況

(令和7年12月31日現在)

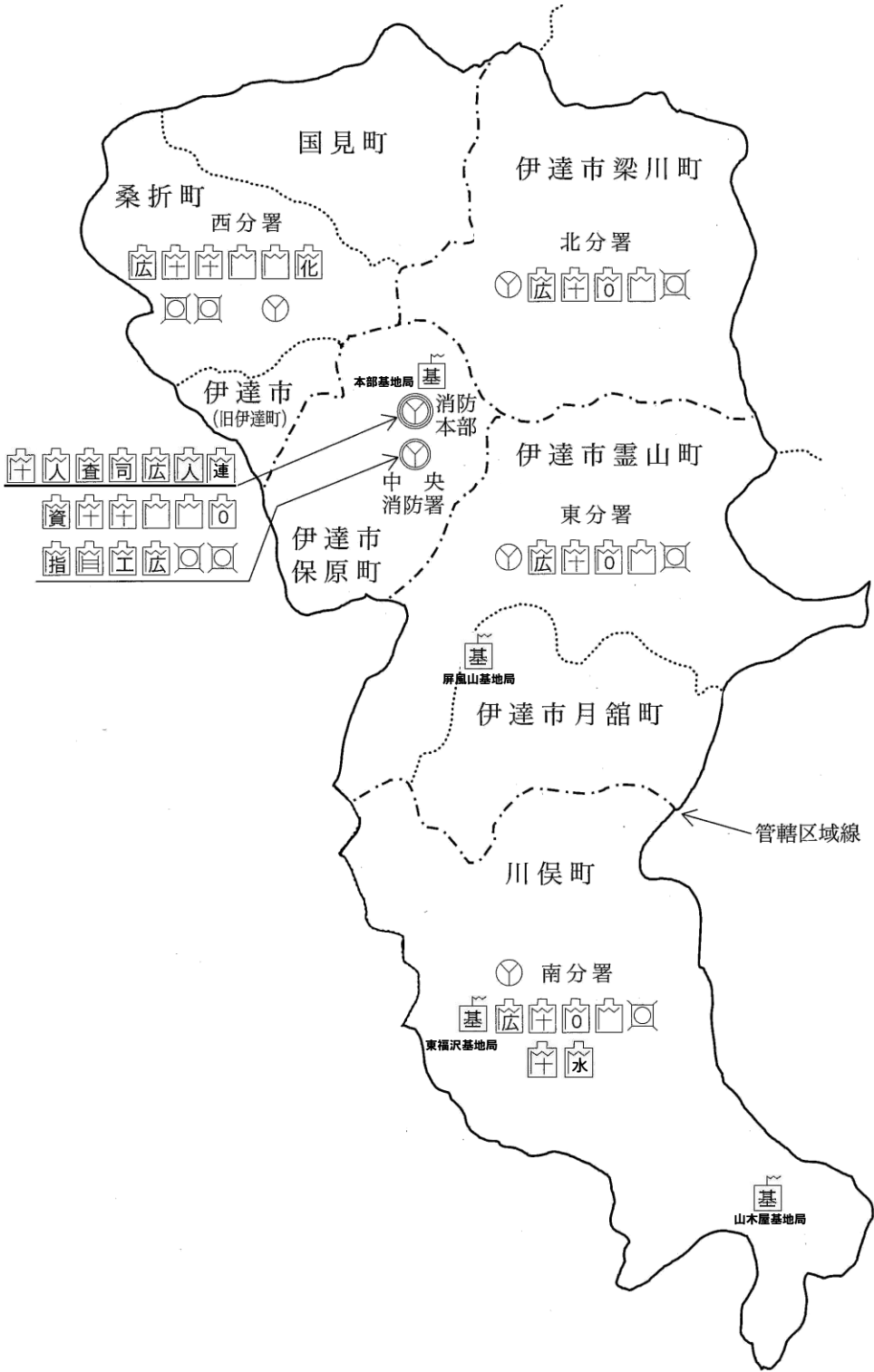
区分 事項		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	計
消 防 法 施行規則	消防計画	175	30	21	35	261
危 政 令	圧縮アセチレン					-
	無水硫酸					-
	液化石油ガス	5	1	1	10	17
	生石灰					-
	毒物・劇物					-
火災予防 条 例	使用開始	19	6	3	13	41
	炉					-
	厨房設備					-
	温風暖房機					-
	ボイラー				6	6
	給湯設備	1				1
	乾燥設備		4	1	1	6
	サウナ					-
	ヒートポンプ冷暖房機					-
	火花を生ずる設備					-
	放電加工機		2			2
	変電設備	5	2		3	10
	発電設備		1		2	3
	蓄電池設備			1	1	2
	燃料電池発電設備					-
	ネオン管					-
	水素気球					-
	まぎらわしい煙	572	233	153	42	1,000
	煙火打上げ	14	3		29	46
	催物		6		2	8
	断減水	1				1
	道路工事	49	2	3	2	56
	露店等開設	12	10		4	26
	指定洞道等					-
	少量危険物	6	9	1	12	28
	指定可燃物	1			1	2
	タンク水張検査					-
計		860	309	184	163	1,516

防 警



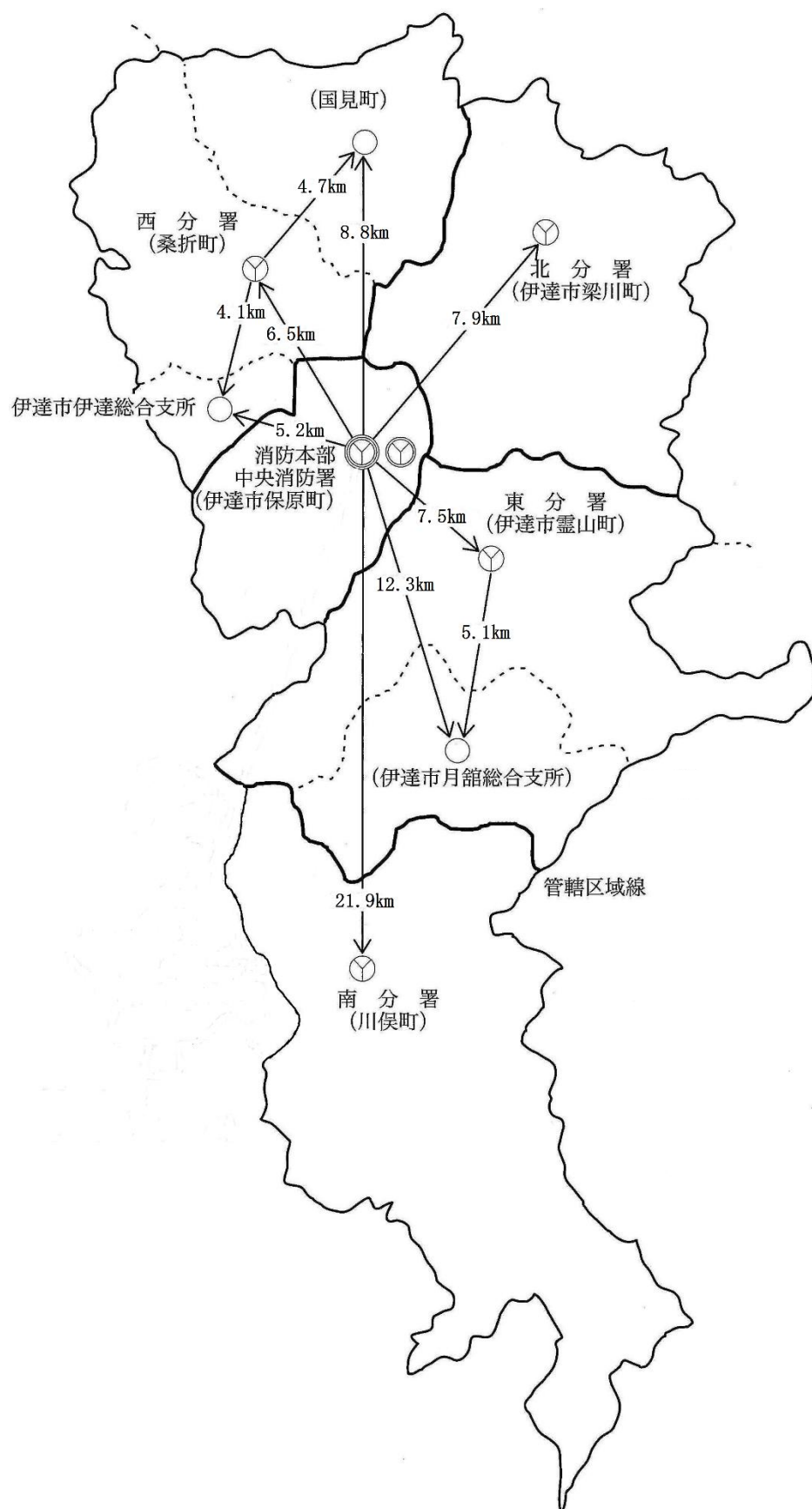
伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

(令和 8 年 4 月 1 日現在)



凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	無線基地局
	消防ポンプ自動車
	はしご付消防自動車
	化学消防自動車
	水槽付消防ポンプ自動車
	救助工作車
	救急自動車
	司令車
	事務連絡車
	広報連絡車
	人員資機材搬送車
	指揮兼照明車
	資機材搬送車
	小型動力ポンプ
	小型動力ポンプ付水槽車
	査察車

消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



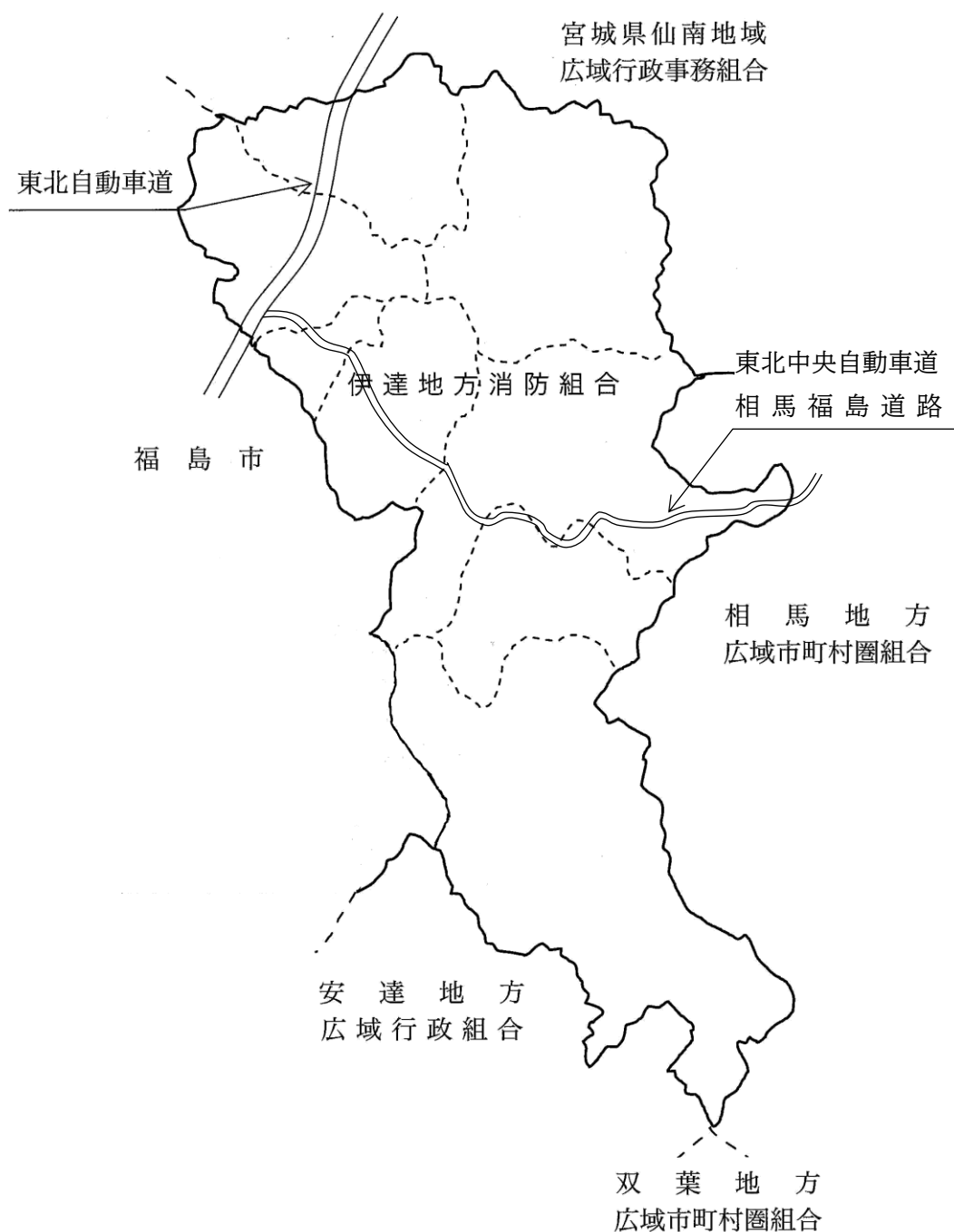
	分署	距離
(中央消防署) 消防本部	東分署	7.5km
	西分署	6.5km
	南分署	21.9km
	北分署	7.9km

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	町境
	管轄区域線

相互応援協定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福島市	令和2年7月31日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和48年9月1日	〃
安達地方広域行政組合	昭和49年2月1日	〃
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和50年4月1日	〃（東北自動車道を含む。）
双葉地方広域市町村圏組合	昭和58年9月1日	〃
東北自動車道1市5組合	平成2年4月1日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成9年12月26日	福島県内12消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成11年12月27日	福島県内12消防本部 火災原因調査
相馬地方広域市町村圏組合	平成30年3月1日	東北中央自動車道(相馬福島道路)相馬玉野IC ～霊山飯舘IC間の火災・救急その他の災害



現 勢 消 防 力 調

(令和8年4月1日現在)

面 積		473.74km ²	消 防 機 械	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	消 防 機 構	団 本 部	4		
				水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	4					
人 口		84,272		は し ご 付 消 防 自 動 車	1			分 団 数	39	
				化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1					
世 帯 数		36,513		小 型 動 力 ポ ン プ	7			団 員 数	2,118	
				救 助 工 作 車	1					
				高 規 格 救 急 自 動 車	9					
消 防 機 構	消防本部	1		司 令 車	1		防 団 械	消 防 ポ ン プ 自 動 車	38	
				防 火 広 報 車	1					
防	消防署	1		査 察 車	1				水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1
				広 報 連 絡 車	5					
機	分署	4		小型動力ポンプ付水槽車	1				小 型 動 力 ポ ン プ	26
				人 員 資 機 材 搬 送 車	2					
				事 務 連 絡 車	1					
				指 揮 兼 照 明 車	1				小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	121
構	人員	151(2)		資 機 材 搬 送 車	1					

注: () 内は再任用職員数

消 防 水 利 現 状 調

(令和8年4月1日現在)

区分 町別	防 火 水 そ う				消 火 栓		井戸	その他	合計
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	60m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	公設	私設			
伊 達 市	222	323	18	13	1,090	9	96	85	1,856
桑 折 町	40	97			202				339
国 見 町	80	59	1	7	162		5	32	346
川 俣 町	136	13	1		173				323
合 計	478	492	20	20	1,627	9	101	117	2,864

消防車両等の現勢調

(令和8年4月1日現在)

所属区分	種 別	車両番号	車 名	年 式	総排気量 (cc)	ポンプ種別等		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
消防本部	司令車	す 4881	スバル レガシィB4	H21	1,990			H21.2.20	17.1
	査察車	す 8721	ニッサン ADバン	H25	1,490			H25.12.17	12.3
	人員資機材搬送車	さ 6988	トヨタ ハイエース コミュニーター	H14	2,980	15人乗		H14.2.6	24.2
	事務連絡車	そ 4030	トヨタ プリウスα	H26	1,790			H26.1.24	12.2
	防火広報車	す 3759	トヨタ ハイエースバン	H19	2,490			H19.8.30	18.6
	人員資機材搬送車	せ 99	日野 LIESSE II	H27	4,000	24人乗 マイクロバス		H27.11.26	10.3
	救急自動車	せ 4180	トヨタ ハイエースバン	R6	2,690	高規格		R6.4.11	2.0
消防中央署	広報連絡車	す 8722	ニッサン ADバン	H25	1,490			H25.12.17	12.3
	救急自動車	せ 2129	トヨタ ハイメディック	R1	2,690	高規格		R1.9.20	6.5
	救急自動車	せ 2720	トヨタ ハイメディック	R2	2,690	高規格		R2.12.4	5.3
	消防ポンプ自動車	す 6952	いすゞ エルフ	H24	2,990	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H24.2.14	14.1
	消防ポンプ自動車	せ 4612	いすゞ エルフ	R7	2,990	モリタ 単段ボリュートポンプ	A-2	R7.7.28	0.7
	水槽付消防ポンプ自動車	は 829	日野 レンジャー	H24	6,400	モリタ 無給油式ピストン 真空ポンプ	A-2	H24.2.14	14.1
	救助工作車	は 1557	日野 レンジャー	R2	5,120	Ⅱ型		R2.7.27	5.7
	はしご付消防自動車	は 764	日野 プロフィア	H23	8,860	24m級		H23.3.8	15.1
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタ ハイエースバン	H17	2,490			H17.10.31	20.4
	資機材搬送車	せ 2576	トヨタ ダイナ	R2	4,000			R2.8.28	5.6
	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	H20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	H20.10.24	17.4
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21A	H24	209	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H24.2.14	14.1
	林野火災高圧ポンプ		ウォータールート 350NS一式	S62	134			S62.5.13	38.9

所属 区分	種 別	車両番号	車 名	年 式	総排 気量 (cc)	ポ ン プ 種 別		購入 年月日	経過 年数
						ポンプ型式	級別		
東 分 署	広報連絡車	す 8723	ニッサン ADバン	H25	1,490			H25.12.17	12.3
	救急自動車	せ 4179	トヨタ ハイエースバン	R6	2,690	高規格		R6.4.11	2.0
	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	H21	2,990	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H21.2.25	17.1
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フオワード	H10	8,200	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H10.10.28	27.4
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	H21	198	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H21.2.17	17.1
西 分 署	広報連絡車	せ 3181	トヨタ タウンエース	R3	1,490			R3.10.28	4.4
	救急自動車	す 3217	トヨタ ハイメディック	R3	2,690	高規格		R3.12.17	4.3
	救急自動車	せ 825	ニッサン パラメディック	H29	3,490	高規格		H29.2.27	9.1
	消防ポンプ自動車	す 8736	いすゞ エルフ	H25	2,990	モリタ 1段 ボリュート式ポンプ	A-2	H25.12.27	12.3
	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞ エルフ	H8	4,570	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H8.10.14	29.5
	化学消防ポンプ自動車	は 1299	日野 レンジャー	H29	8,220	モリタ 単段 ボリュートポンプ	A-2	H29.2.20	9.1
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	H21	198	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H21.8.7	16.7
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	H25	209	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H25.12.27	12.3
南 分 署	広報連絡車	す 9644	ニッサン ADバン	H27	1,490			H27.2.3	11.2
	救急自動車	せ 1252	トヨタ ハイメディック	H29	2,690	高規格		H29.12.1	8.3
	救急自動車	せ 2130	トヨタ ハイメディック	R1	2,690	高規格		R1.9.20	6.5
	消防ポンプ自動車	す 8737	いすゞ エルフ	H25	2,990	モリタ 1段 ボリュート式ポンプ	A-2	H25.12.27	12.3
	水槽付消防ポンプ自動車	は 954	日野 レンジャー	H25	6,400	モリタ 無給油式ピストン 真空ポンプ	A-2	H25.2.7	13.2
	小型動力ポンプ付水槽車	は 1176	日野 レンジャー	H27	7,680	トーハツ VF63AS	B-1	H27.2.9	11.1
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	H25	209	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H25.12.27	12.3
北 分 署	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	H17	1,490			H17.10.31	20.4
	救急自動車	せ 4919	トヨタ ハイメディック	R8	2,690	高規格		R8.3.17	0.0
	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	H22	2,990	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H22.2.4	16.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フオワード	H21	5,190	モリタ 高圧2段 バランスタービン	A-2	H21.2.25	17.1
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	H22	198	トーハツ 片吸込1段 タービンポンプ	C-1	H22.2.4	16.2

無線局配置状況調

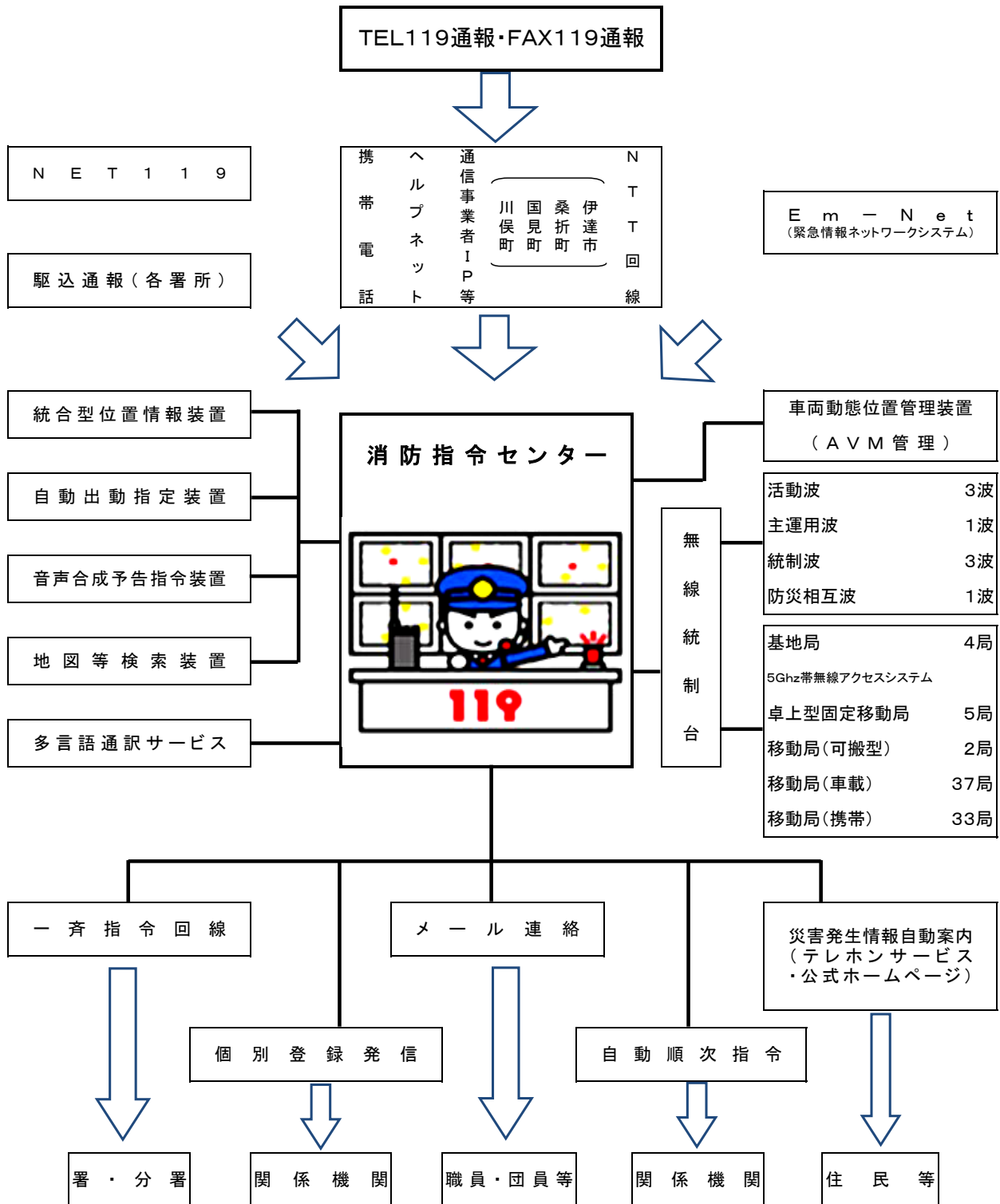
(令和8年4月1日現在)

基地局	5Ghz帯無線アクセスシステム
消防本部基地局	消防本部基地局
屏風山基地局	屏風山基地局
東福沢基地局	東福沢基地局
山木屋基地局	

可搬型移動局	識別信号
警防本部1	けいぼうほんぶ1
現場指揮1	げんばしき1

局別 署所別	局別	超短波				
	卓上型 固定移動局	車 載 型	移 動 局		携帯型移動局	
		種 別	台	識 別 信 号	デジタル	アナログ
消防本部		司 令 車	1	ほんぶしれい1	4	9 (署活波)
		査 察 車	1	ほんぶささつ1		
		人 員 資 機 材 搬 送 車	1	ほんぶしえん1		
		人 員 資 機 材 搬 送 車	1	ほんぶしえん2		
		事 務 連 絡 車	1	ほんぶれんらく1		
		防 火 広 報 車	1	ほんぶこうほう1		
		救 急 車	1	ほんぶきゅうきゅう1		
中央消防署	だてちゅう おう1	広 報 連 絡 車	1	ちゅうおうこうほう1	10	14 (署活波) 1 (防災波)
		救 急 自 動 車	1	ちゅうおうきゅうきゅう1		
		救 急 自 動 車	1	ちゅうおうきゅうきゅう2		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	ちゅうおうぼんぷ1		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	ちゅうおうぼんぷ2		
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	ちゅうおうたんく1		
		救 助 工 作 車	1	ちゅうおうきゅうじょ1		
		は し ご 付 消 防 自 動 車	1	ちゅうおうはしご1		
		指 揮 兼 照 明 車	1	ちゅうおうしき1		
		資 機 材 搬 送 車	1	ちゅうおうしきざい1		
東 分 署	だてひがし 1	広 報 連 絡 車	1	ひがしこうほう1	4	5 (署活波)
		救 急 自 動 車	1	ひがしきゅうきゅう1		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	ひがしぼんぷ1		
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	ひがしたんく1		
西 分 署	だてにし1	広 報 連 絡 車	1	にしこうほう1	6	7 (署活波)
		救 急 自 動 車	1	にしきゅうきゅう1		
		救 急 自 動 車	1	にしきゅうきゅう2		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	にしぼんぷ1		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	にしぼんぷ2		
		化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	にしかがく1		
南 分 署	だてみなみ 1	広 報 連 絡 車	1	みなみこうほう1	5	7 (署活波) 1 (防災波)
		救 急 自 動 車	1	みなみきゅうきゅう1		
		救 急 自 動 車	1	みなみきゅうきゅう2		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	みなみぼんぷ1		
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	みなみたんく1		
		小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	みなみすいそう1		
北 分 署	だてきた1	広 報 連 絡 車	1	きたこうほう1	4	5 (署活波)
		救 急 自 動 車	1	きたきゅうきゅう1		
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	きたぼんぷ1		
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	きたたんく1		
合 計			37		33	49

消防指令センターの概要



消 防 機 器 材 の 現 有 状 況

(令和8年4月1日現在)

種別		区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
警 防	中継用布水槽	7		3	1	1	1	1	マリーンA500、KA-2500、ウォータータンク
	背負い式散水器	110		31	15	24	25	15	ジェットシューター、ファイヤーハンター
	消火栓立上媒介金具	15		5	2	3	4	1	
	二又分岐金具	34		13	4	7	6	4	
	三連はしご	10		5	1	1	2	1	
	二連はしご	6		1	1	2	1	1	
	かぎ付はしご	4		3	1				
	エンジンカッター	7		3	1	1	1	1	パートナー K950、Husqvarna K970、K760
	ボルトカッター	16	2	5	3	3	2	1	10m/m、5m/m
	空気呼吸器	84		55	6	9	8	6	ライフゼム ドレーゲル
	酸素呼吸器	7		7					ライフゼム ドレーゲル
	空気ポンベ	191		119	15	21	21	15	
	耐熱服	7		4		3			ZK-5000
	携帯拡声器	40	3	15	5	8	4	5	
	東消式フォグガン	8			2	3	1	2	T-200
	オイルフェンス	15		3	3	3	3	3	10m
	耐電・絶縁用具一式	8		8					
	小型動力ポンプ	7		2	1	2	1	1	シバウラ トーハツ
	林野火災用高圧ポンプ	1		1					ウォータールート350NS一式
	訓練用人形	2		2					ダミー「あか男」
救 急	泡ノズル	8		2	1	2	1	2	ピックアップ式RP-200 AFN-400R
	エアータンク一式	2		2					アキレスA-45
	フローティングストレーナー	5		1	1	1	1	1	トーハツ MINI
	クーリングベスト	50		20	5	10	10	5	クールベストウルトラ CVC200-LXL-G
	心肺蘇生用訓練器	42		42					レールダル社 (株)ヤガミ
	AEDトレーナー	41		41					レールダル社 日本光電 フィジオコントロール
	トリアージ訓練キット	1		1					
	酸素ポンベ	136		136					10ℓ 4ℓ 3.5ℓ 1.5ℓ
	防刃ベスト	21		6	3	6	3	3	
	生体情報モニター	8		2	1	2	2	1	ライフスコープVS
	血圧計	14		4	2	3	3	2	
	ショックパンツ	5		1	1	1	1	1	米国デービットクラーク社製
	喉頭鏡	21		7	2	6	4	2	マッキントッシュ型
	異物除去用鉗子	9		3	1	2	2	1	マギール鉗子
	気道管理トレーナー	5		1	1	1	1	1	レールダル社製
	自動式心マッサージ器	7		2	1	1	2	1	LUCAS2 LUCAS3
	血中酸素飽和濃度測定器	14		3	2	4	3	2	
	トリアージシート	5		1	1	1	1	1	

種別		区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
救	バックボート	15		6	1	4	3	1	ハitekバックボード モデル2010
	人工蘇生器	17		5	1	5	5	1	
	リングカッター	8		2	1	2	2	1	ビーバー OS-1
	心電計	5		1	1	1	1	1	
	除細動器	13		3	2	3	3	2	ライフパック1000
	輸液セット	8		2	1	2	2	1	
	気道確保チューブ	8		2	1	2	2	1	
	ターボリン担架	14		2	2	4	4	2	
	高度救急処置シミュレーター	3		3					セーブマン
	輸液訓練用モデル	5		1	1	1	1	1	
急	殺菌ロッカー	5		1	1	1	1	1	ステリライズロッカー
	特定行為専用バックセット	8		2	1	2	2	1	
救	空気式救助マット	1		1					フエッタージャンプバックSP16
	レンジャー担架	26		11	3	5	4	3	平、舟型、TIスプリット、スケッド、スクープ
	救命索発射銃	1		1					レスキューマックス #411
	救命索発射装置	2		2					レスキューショット
	マット型空気ジャッキ	2		2					マイティバック
	安全マット	2		2					
	安全ネット	1		1					
	張力計	3		3					YR-100
	油圧救助器具	20		17	1	1	1		ルーカス、オグラ、ブラックホーク
	可搬ウインチ	11		8	1	1	1		T-7、TU-16、T-35
	エンジンカッター	7		3	1	1	1	1	ハスクバーナ
	チェーンソー	7		3	1	1	1	1	ニューサンダー、丸山、ゼノア、スチール
	エアソー	2		2					タイガー
	携帯用エアツール	2		2					アジャックス
	ポートパワー	2		2					20t
	削岩機	3		3					DH40MRY、コブラコンビ、TE30-M-AVR
	画像探索機	2		2					カールシーカーMY-40、プロカムⅡ
	救助用ボート	8		4	1	1	1	1	アキレスSU-14、SE365、FRB-380、EZ4-942
	救助ボート用船外機	3		3					ホンダBF9.9AMLJ、ヤマハ20CM、トーハツMFS20CEFL
	ワイヤーはしご	2		2					ケービングラダー-11m、KHFL-Y-11
	マンホール救助器具	2		2					ロールグリスR350TS、アリゾナボーテックス
	携帯用コンクリート破壊器具	3		3					ストライカーTR-800
	携帯警報器	5		5					スーパーパスⅡ
	ガス測定器	11		7	1	1	1	1	新コスモス電機 理研計器
	放射線防護服	5		5					NUK-500、NUK-6000
	放射線測定器(空間線量計)	60	58	2					RDS-30S RadEye G-10 NHE20CY3-131BY-S
	放射線測定器(表面汚染検査計)	13	12	1					RDS-80 RadEye B-20
	個人線量計	319	301	10			8		DOSE i - γ PDM-222C-SH
	救助用縛帯	9		5	1	1	1	1	R-427、R-N430

種別		区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
救	吊り上げ救助器具	2		2					4ポイントブラインドルー式
	陽圧式化学防護服	3		3					ドレーゲルCPS7900
	緩降機	2		2					スローダン125-30m
	送排風機	1		1					ラムファン
助	熱画像直視装置	1		1					FLIR K55
予	スクリーン	2	2						ELPSC25(2)
	プロジェクター	2	2						EMP-835 EB-1925W
	超音波厚計	2	2						UTM-20B SM-1500D
	カメラ	16	2	3	2	3	3	3	EOSkissⅢ RICOH600 ほか
防	煙体験用資機材	2		2					PS-2001 PS-2002
	訓練用消火栓箱	1	1						
そ の 他	エアーコンプレッサー	5		1	1	1	1	1	
	ガレージジャッキ	9		3	2	1	2	1	10t、5t、3t
	サービスキット	6		2	1	1	1	1	
	洗車機	7		3	1	1	1	1	メガシャイン、高圧洗浄機
	エアーインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP
	電気ドリル	1		1					
	電気ディスクグラインダー	1		1					
	電気丸のこ	1		1					
	コンビネーションガス測定器	11		7	1	1	1	1	
	空気充填用コンプレッサー	2		1		1			CAPITANO(C140E-2)
他	充電器	5		1	1	1	1	1	ニッサルコBS6565、アルティア製BS6566-0002

救 助



事故種別出動件数活動件数調

(令和7年12月31日現在)

件数区分	火災		交通事故	通事故	水事	難故	風水等災	害自然	機による	械による	建物等による	ガス及び酸欠	爆事	発故	その他の事故	計
	建物	建物以外														
出動件数			33		2				5		4	1			8	53
活動件数			10		1				5		3	1			3	23

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(令和7年12月31日現在)

件数区分	火災		交通事故	通事故	水事	難故	風水等災	害自然	機による	械による	建物等による	ガス及び酸欠	爆事	発故	その他の事故	計
	建物	建物以外														
救急自動車			8		1				2		3				2	16
消防機関のその他の車両等																-
消防機関以外の車両等 (ドクターヘリ等)			2						2							4
不搬送									1			1			1	3
計			10		1				5		3	1			3	23

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出動人員活動人員調

(令和7年12月31日)

事故種別 件数区分		火災			交通事故	水事	難故	風水等災害	機械による事故	建物による事故	物による事故	ガス・酸欠事故	爆発事故	発火事故	その他の事故	計
		建物	建以外													
出動人員	専任救急隊員															
	兼任救助隊員				118	8			17	13	3				28	187
	消防隊員				127	10			20	2	3				19	181
	救急隊員				120	7			17	12	3				21	180
	計				365	25			54	27	9				68	548
活動人員	専任救急隊員															
	兼任救助隊員				19	4			17	7					7	54
	消防隊員				28	4			17	2	3					54
	救急隊員				18	4			10						3	35
	計				65	12			44	9	3				10	143

(注) 1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出動した人員及び活動した人員を記載する。

2. 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出動車両及び活動車両等台数調

(令和7年12月31日)

事故種別 件数区分		火 災			交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故	機 械 建 物 等 ガス 及 爆 発 事 故
		建 物	建 物	建 物									
出 動 車 両 等	救 助 工 作 車				33 (6)	2 (1)		5 (5)	4 (2)	1		7 (2)	52 (16)
	ポ ン プ 自 動 車				29 (9)	1		4 (3)				3	37 (12)
	屈 折 は し ご 車 は し ご 車												-
	化 学 車				6 (1)	1 (1)		1 (1)		1 (1)			9 (3)
	指 揮 令 車 車				4	1						2	7
	救 急 車				41 (6)	2 (1)		5 (2)	4	1		8 (1)	61 (10)
	船 舶												-
	ヘ リ コ プ タ ー												-
	そ の 他				1	1		2 (1)	1 (1)			2	7 (1)
計					114 (21)	8 (3)		17 (11)	9 (3)	3 (1)		22 (3)	173 (42)

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両等及び実際に活動した車両等の台数について記載する。

2 ()は、活動車両

3 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別発生場所別出動件数及び活動件数調

(令和7年12月31日)

事故種別 件数区分			火災			交通事 故	水事	難 故	風 等 災	水 自 然 害	機 に 事	械 よ る 故	建 物 よ る 故	等 る 故	ガ ス 酸 び 事	及 欠 故	爆 事	発 故	そ の 事 故	他 の 事 故	計
			建	物	建 以 物 外																
屋 内	住居												4 (3)						3 (2)		7 (5)
	そ の 他 の 屋 内																				—
屋 外	道 路	高 速 道 路 国 道			3																3
		そ の 他 の 道 路			24 (8)																24 (8)
	水 面	内 水 面								1 (1)											1 (1)
		外 水 面					2 (1)												1		3 (1)
	山 岳																		1		1
	そ の 他 の 屋 外			5 (2)					4 (4)				1 (1)						2 (1)		12 (8)
地 下																					—
そ の 他				1															1		2
計				33 (10)	2 (1)			5 (5)	4 (3)	1 (1)			8 (3)								53 (23)

(注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

2 ()は、活動件数

事故種別発生場所別救助人員調

(令和7年12月31日)

事故種別 件数区分			火災			交通事 故	水事	難 故	風 水 自 然 害	機 に 事	械 よ る 故	建 物 よ る 故	等 る 故	ガ ス 酸 び 事	及 欠 故	爆 事	発 故	その 事 故	他の 事 故	計
			建	物	建 以 物 外															
屋 内	住居												3						2	5
	その他の屋内																			—
屋 外	道 路	高速度道路																		—
		その他の道路				8														8
	水 面	内水面								1										1
		外水面					1													1
	山岳																			—
	その他の屋外					2				4				1					1	8
地下																			—	
その他																			—	
計						10	1			5		3		1					3	23

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

救 急



令和7年救急活動の概要

1 救急出動状況

救急出動件数は 5,619 件で、前年より 186 件(3.4%)増加、搬送人員は 5,316 人で、前年より 168 人(3.3%)増加した。搬送人員を年齢別に見ると、高齢者(65 歳以上)が 4,102 人(前年比 194 人(4.9%)増加)で全体の 77.2%を占めている。次いで成人(18～64 歳)が 967 人(前年比 60 人(5.8%)減少)で全体の 18.2%となっている。1日平均出動件数は 15.4 件で、管内では、15.9 人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

2 月別搬送件数

月別の救急搬送状況は 1 月の 538 件が最も多く、次いで 7 月の 517 件となっている。

また、月平均出動件数は 468.3 件(前年比 15.5 件(3.4%)増加)で、月平均搬送人員は 443 人(前年比 14 人(3.3%)増加)となっている。

3 市町別出動状況

市町別出動件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が 3,675 件(前年比 114 件(3.2%)増加)と最も多く、次いで川俣町の 847 件(前年比 9 件(1.1%)減少)、桑折町 572 件(前年比 18 件(3.2%)増加)、国見町 509 件(前年比 62 件(13.9%)増加)の順となっている。

4 事故種別出動状況

事故種別では、急病の出動件数が 3,796 件(前年比 145 件(4.0%)増加)で最も多く、全体の 67.6%を占めている。次いで一般負傷 865 件(前年比 62 件(7.7%)増加)で全体の 15.4%、転院搬送 599 件(前年比 28 件(4.5%)減少)で全体の 10.7%、交通事故 198 件(前年比 19 件(8.8%)減少)で全体の 3.5%となっている。

5 医療機関別搬送状況

搬送人員の 61.9%にあたる 3,288 人(前年比 142 人(4.5%)増加)が管内の医療機関に搬送され、38.1%にあたる 2,028 人(前年比 26 人(1.3%)増加)が管外の医療機関に搬送されている。

6 高速道路(東北自動車道)への出動状況

東北自動車道への出動状況は 16 件(前年比 0 件)、搬送人員は 12 人(前年比 2 人減少)となっている。

7 ドクターヘリ搬送状況

ドクターヘリの出動状況は、要請件数 22 件(前年比 3 件減少)、うちヘリによる搬送人員 14 人(前年比 3 人減少)となっている。

8 熱中症による搬送状況

熱中症による搬送状況は、全体で 79 人(前年比 6 人増加)となっており、内訳で伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が 39 人(前年比 7 人減少)、桑折町が 17 人(前年比 6 人増加)、国見町が 7 人(前年比 0 人)、川俣町が 16 人(前年比 7 人増加)となっている。

市町別・月別救急出動状況

(令和7年12月31日現在)

市町名 区分			月別												合計	前年	増減数	(増減率)
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
伊達市	旧伊達町	件数	73	64	60	42	41	69	69	68	59	60	71	87	763	689	74	11
		人数	72	59	58	40	40	69	66	60	57	57	69	87	734	659	75	11
	旧梁川町	件数	65	52	52	75	60	57	93	88	61	62	78	70	813	770	43	6
		人数	59	49	51	72	58	53	84	84	55	58	74	69	766	739	27	4
	旧保原町	件数	149	94	131	109	125	139	129	104	120	125	117	114	1,456	1,396	60	4
		人数	138	91	125	105	122	133	122	100	116	118	113	107	1,390	1,321	69	5
	旧霊山町	件数	42	31	37	31	33	40	26	35	33	30	52	39	429	490	△ 61	△ 12
		人数	42	27	35	28	29	37	25	33	29	29	48	38	400	465	△ 65	△ 14
	旧月館町	件数	26	14	14	21	21	17	16	22	9	13	18	23	214	216	△ 2	△ 1
		人数	24	11	14	21	19	16	14	21	9	12	18	20	199	209	△ 10	△ 5
	小計	件数	355	255	294	278	280	322	333	317	282	290	336	333	3,675	3,561	114	3
		人数	335	237	283	266	268	308	311	298	266	274	322	321	3,489	3,393	96	3
伊達郡	桑折町	件数	44	41 (△ 1)	53	28	54	52 (△ 1)	59	53	38	58	51	41	572 (△ 2)	554 (△ 1)	18 1	3
		人数	42	38 (△ 1)	47	26	52	48	55	50	34	54	47	40	533 (△ 1)	510 (△ 1)	23	5
	国見町	件数	44 (△ 1)	46 (△ 1)	39 (△ 1)	33	43	36	46	51 (△ 2)	47	35	32	57	509 (△ 5)	447 (△ 8)	62 (△ 3)	14
		人数	42 (△ 1)	43	37 (△ 1)	32	41	33	41	47 (△ 2)	46	34	31	55	482 (△ 4)	428 (△ 7)	54 (△ 3)	13
	川俣町	件数	95	57	65	59	61	61	75	89	71	71	73	70	847	856	△ 9	△ 1
		人数	85	53	63	53	58	59	72	82	68	66	72	67	798	800	△ 2	△ 0
その他		件数		1 (△ 1)				1	4 (△ 2)	1 (△ 1)	2 (△ 1)	1 (△ 1)	3 (△ 2)	3 (△ 1)	16 (△ 9)	15 (△ 7)	1 2	7
		人数		1 (△ 1)				1	3 (△ 1)	1 (△ 1)	2 (△ 1)	1 (△ 1)	2 (△ 1)	3 (△ 1)	14 (△ 7)	17 (△ 6)	△ 3 1	△ 18
合計		件数	538 (△ 1)	400 (△ 3)	451 (△ 1)	398	438	472 (△ 1)	517 (△ 2)	511 (△ 3)	440 (△ 1)	455 (△ 1)	495 (△ 2)	504 (△ 1)	5,619 (△ 16)	5,433 (△ 16)	186	3
		人数	504 (△ 1)	372 (△ 2)	430 (△ 1)	377	419	449 (△ 1)	482 (△ 3)	478 (△ 3)	416 (△ 1)	429 (△ 1)	474 (△ 1)	486 (△ 1)	5,316 (△ 12)	5,148 (△ 14)	168 (△ 2)	3

()は、東北自動車道への出場状況

市町別・事故種別救急出動状況

(令和7年12月31日)

事故種別 市町名 区分			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	
伊達市	旧伊達町	件数	1		1	27	3	1	103		8	442	177				763
		人数				27	3	1	98		8	420	177				734
	旧梁川町	件数	1		1	26	5	2	136	3	4	607	22			6	813
		人数				24	5	2	132	1	4	576	22				766
	旧保原町	件数	3			51	10	7	200	6	11	984	182			2	1,456
		人数	1			47	10	6	193	4	9	938	181			1	1,390
	旧霊山町	件数	1			5	6	1	71		3	314	24			4	429
		人数				5	6	1	67		3	294	24				400
	旧月舘町	件数	3			10	3	2	29			166				1	214
		人数				8	3	2	29			157					199
	小計	件数	9	-	2	119	27	13	539	9	26	2,513	405	-	-	13	3,675
		人数	1	-	-	111	27	12	519	5	24	2,385	404	-	-	1	3,489
伊達郡	桑折町	件数	6			16 (1)	6	3	115	1	5	417 (1)	2			1	572 (2)
		人数				15	6	3	110	1	3	393 (1)	2				533 (1)
	国見町	件数	6			25	3	1	85		2	293 (5)	93			1	509 (5)
		人数	1			22	2	1	81		1	281 (4)	93				482 (4)
	川俣町	件数	3			30	2	8	126	3	8	566	99			2	847
		人数	1			27	2	8	122	2	7	530	99				798
その他		件数	1 (1)			8 (6)						7 (2)					16 (9)
		人数	1 (1)			6 (4)						7 (2)					14 (7)
合計		件数	25 (1)	-	2	198 (7)	38	25	865	13	41	3,796 (8)	599	-	-	17	5,619 (16)
		人数	4 (1)	-	-	181 (4)	37	24	832	8	35	3,596 (7)	598	-	-	1	5,316 (12)

()は、東北自動車道への出場状況

事故種別救急出動状況(前年比較)

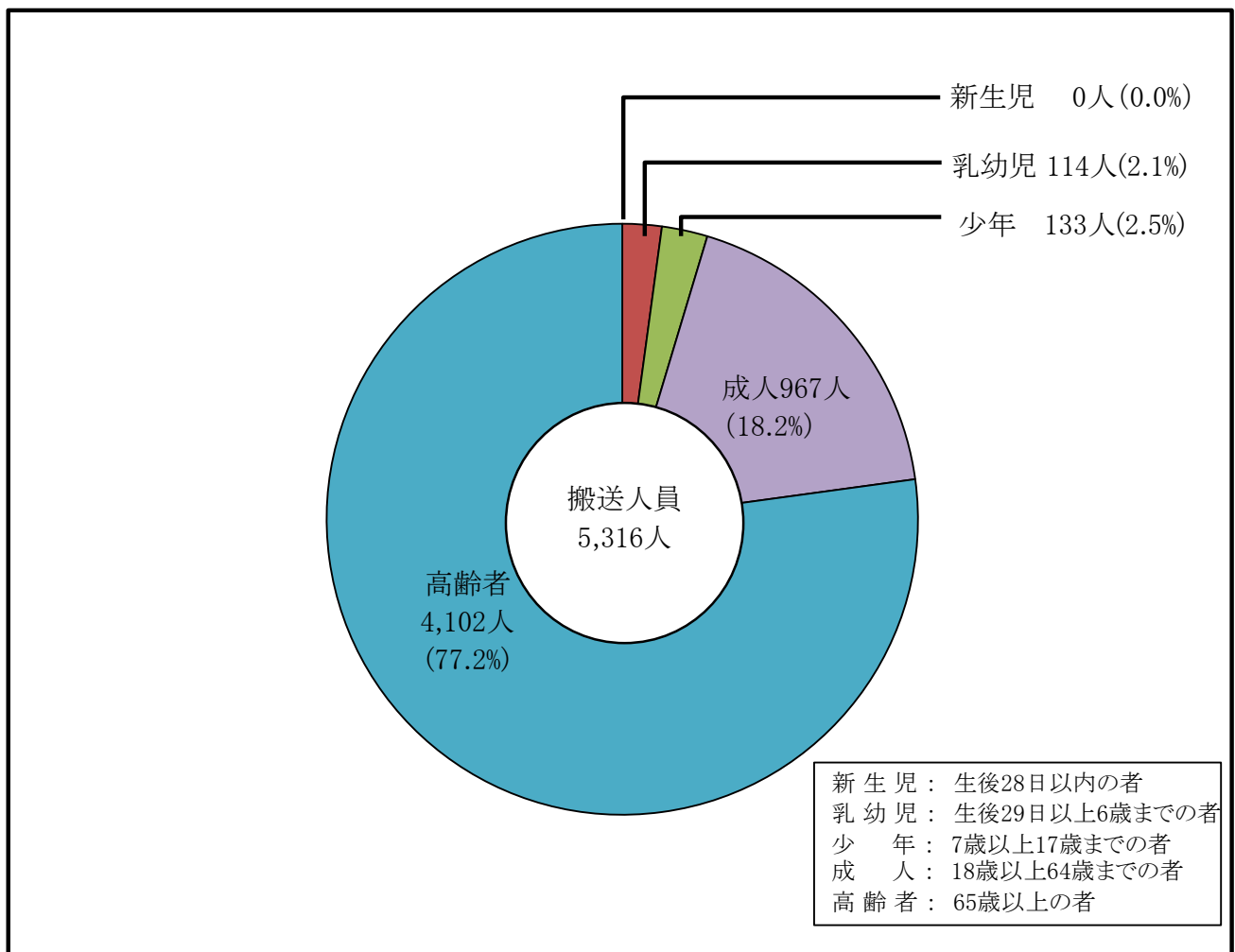
(令和7年12月31日現在)

区 分		令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減数 (C)=(A)－(B)	増減率(100%) (C)／(B)×100
火災	出動件数	25	17	8	47.1
	搬送人員	4	－	4	400.0
自然災害	出動件数	－	－	－	－
	搬送人員	－	－	－	－
水難	出動件数	2	1	1	100.0
	搬送人員	－	－	－	－
交通	出動件数	198	217	△ 19	△ 8.8
	搬送人員	181	212	△ 31	△ 14.6
労働災害	出動件数	38	56	△ 18	△ 32.1
	搬送人員	37	54	△ 17	△ 31.5
運動競技	出動件数	25	16	9	56.3
	搬送人員	24	17	7	41.2
一般負傷	出動件数	865	803	62	7.7
	搬送人員	832	758	74	9.8
加害	出動件数	13	6	7	116.7
	搬送人員	8	4	4	100.0
自損行為	出動件数	41	30	11	36.7
	搬送人員	35	25	10	40.0
急病	出動件数	3,796	3,651	145	4.0
	搬送人員	3,596	3,452	144	4.2
その他	出動件数	616	636	△ 20	△ 3.1
	搬送人員	599	626	△ 27	△ 4.3
合 計	出動件数	5,619	5,433	186	3.4
	搬送人員	5,316	5,148	168	3.3

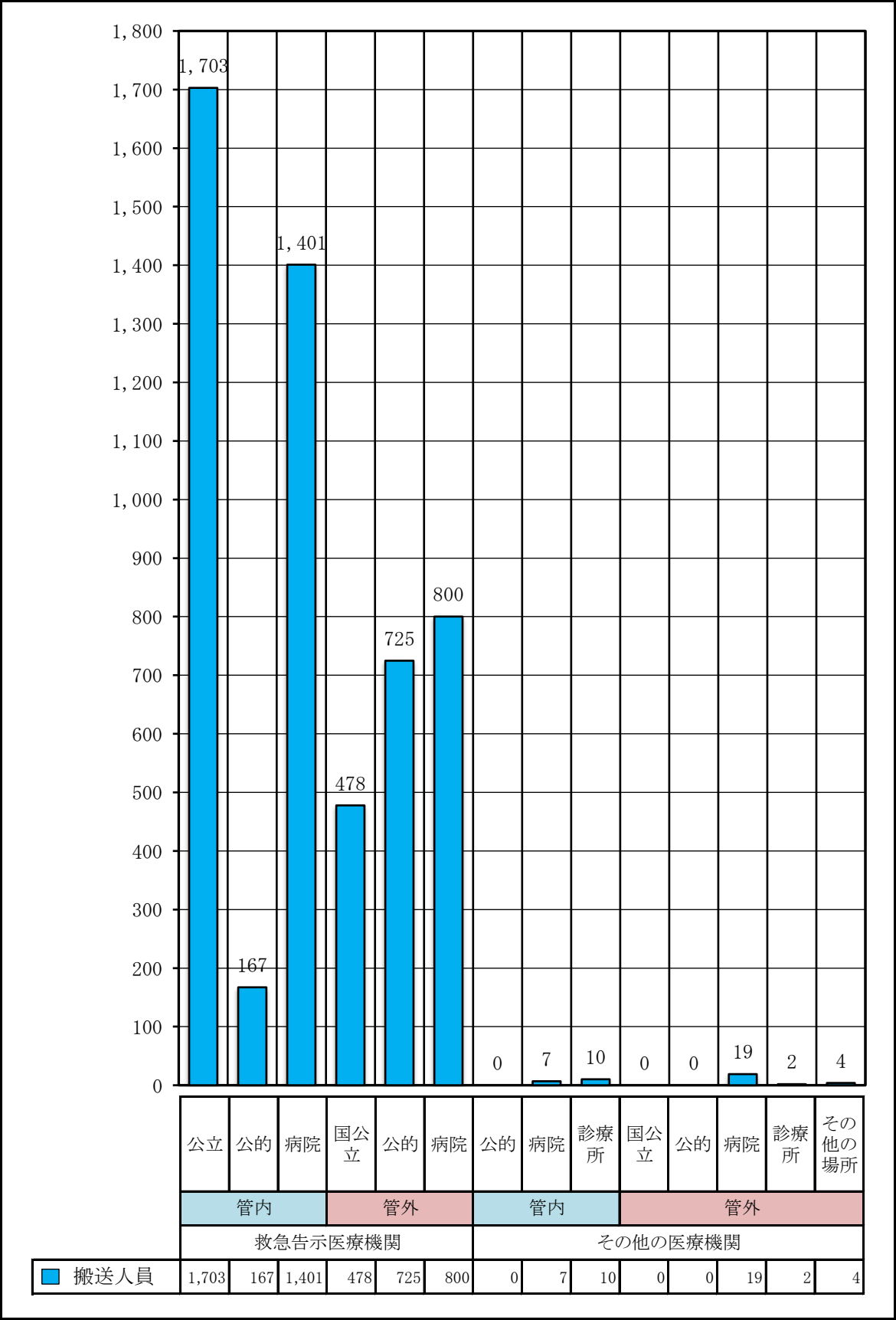
搬送人員傷病程度別分類状況

程度 \ 人員	比率%		200	400	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600
死亡	152	2.9	152												
重症	675	12.7	675												
中等症	2,548	47.9	2548												
軽症	1,941	36.5	1941												
その他	0	0.0													

搬送人員年齢別比率



医療機関別搬送状況



事故種別・時間別救急出動状況

区 分		火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
												転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	
時 間 別 内 訳	0～2	2			4			24	1	1	159	3			2	196
	2～4				2			9	1	2	111	4			1	130
	4～6	1			3			26	1		154	5			1	191
	6～8	2			16			81		3	314	3			2	421
	8～10	1			48	5	2	130	2	5	499	63			2	757
	10～12				25	11	6	110		2	509	134			2	799
	12～14	2			29	3	6	115	1	3	400	138			3	700
	14～16	4			25	9	5	100	2	11	391	98			2	647
	16～18	4		1	20	7	5	102	2	5	384	98			1	629
	18～20	5		1	20	3		83		4	411	29				556
	20～22	2			1		1	47	1	3	273	13				341
	22～24	2			5			38	2	2	191	11			1	252
合 計		25	-	2	198	38	25	865	13	41	3,796	599	-	-	17	5,619

現場到着所要時間別出動件数調

区 分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	37	118	2,182	1,412	47	3,796
交 通 事 故	1	1	93	85	18	198
一 般 負 傷	8	23	506	310	18	865
そ の 他	5	124	467	150	14	760
計	51 (0.9%)	266 (4.7%)	3,248 (57.8%)	1,957 (34.8%)	97 (1.8%)	5,619

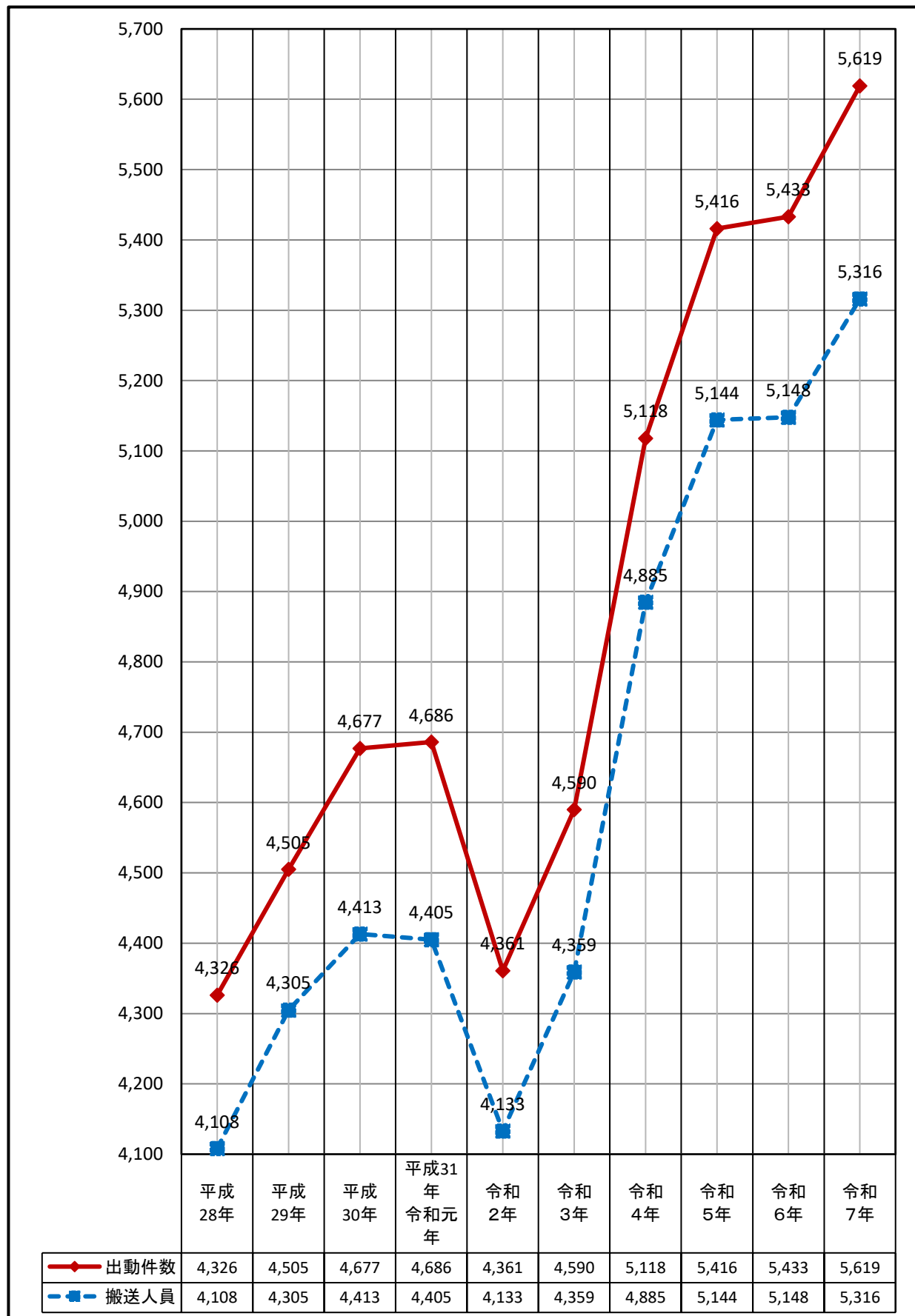
(注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

収容時間別搬送人員数調

区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病	-	24	288	2,554	712	18	3,596
交 通 事 故	-	-	3	87	85	6	181
一 般 負 傷	-	2	53	527	241	9	832
そ の 他	-	13	138	497	53	6	707
計	- (0.0%)	39 (0.7%)	482 (9.1%)	3,665 (68.8%)	1,091 (20.5%)	39 (0.7%)	5,316

(注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載したものである。

過去10年の救急出動件数



市町別の救急出動率及び搬送割合の推移

区分 市町別	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
伊達市	509.0	19.8	588.5	17.8	623.5	16.9	621.8	16.9	672.2	15.7
桑折町	420.6	23.7	441.7	23.8	488.0	21.9	497.9	21.8	534.3	20.1
国見町	492.0	21.0	510.0	20.9	574.5	18.5	538.4	19.4	649.3	16.3
川俣町	577.6	17.8	618.2	16.9	688.1	15.2	721.9	14.8	766.3	13.9
管内	505.8	20.0	566.7	18.5	610.6	17.2	611.8	17.3	664.9	15.9
(摘 要) (A)救急出動率: 人口1万人あたりの救急出動件数 (B)住民搬送割合: 何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合であり、管内においては、 15.9人に1人 の割合で救急車により搬送されていることを表す。 人口: 令和8年4月1日現在										

ドクターヘリ搬送状況

区分 市町別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
要請件数	22	39	39	25	22
ヘリ搬送人員	15	24	26	17	14

熱中症による搬送状況（搬送人員）

区分 市町別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
伊達市	41	50	80	46	39
桑折町	10	7	15	11	17
国見町	6	4	10	7	7
川俣町	5	14	16	9	16
合計	62	75	121	73	79

署・分署別救急出動状況(前年比較)

区分		令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減数 (C)=(A)－(B)	増減率(100%) (C)／(B)×100
中央消防署	出動件数	1,498	1,374	124	9.0
	搬送人員	1,407	1,287	120	9.3
東分署	出動件数	623	654	△ 31	△ 4.7
	搬送人員	588	624	△ 36	△ 5.8
西分署	出動件数	1,849	1,750	99	5.7
	搬送人員	1,765	1,662	103	6.2
南分署	出動件数	870	876	△ 6	△ 0.7
	搬送人員	821	826	△ 5	△ 0.6
北分署	出動件数	779	779	0	0.0
	搬送人員	735	749	△ 14	△ 1.9
合 計	出動件数	5,619	5,433	186	3.4
	搬送人員	5,316	5,148	168	3.3